



155



 155



155



New ALFA 155 Q4

あらゆる状況において、 傑出した高速性能と安全性を提供。

ニュー アルファ155Q4はスタイル、安全性、快適さを最高レベルで統合し、卓越したパフォーマンスを発揮する新世代スポーツカーです。ウェッジシェイプの引き締まったボディは、伝統の精悍さとエレガンスを融合し、洗練されたダイナミズムと強烈な個性を見事に表現しています。

心臓部には現代最高レベルのテクノロジーを投入した新型の直列4気筒2.0ℓ DOHC16バルブ・ターボ・エンジンを搭載。道を選ばない逞しい走りをもたらす先進のフルタイム4WDシステムと相まって、ステアリングを握る方にエキサイティングなドライビングの歓びを約束します。

ニュー アルファ155Q4は革新の息吹に満ち、次世紀を予感させながら、スポーツにおける新たなコンセプトを力強く提示します。

ニュー アルファ155Q4はあらゆる状況において、俊敏でスポーティなドライビング性能と、完璧なまでのコントロール性能を発揮します。それはモータースポーツに挑戦し続けるアルファ ロメオの伝統の中から生まれた、パワフルな直列4気筒2.0ℓ DOHC16バルブ・ターボ・エンジンと信頼性に優れたメカニカル・コンポーネンツによってもたらされます。

さらに、この高性能パワーユニットは先進のフルタイム4WDシステムと組み合わせられ、強烈なパワーをフロントおよびリアアクスルに理想的に配分し、あらゆる状況で抜群のグリップ力を生み出します。ニュー アルファ155Q4は卓越したスポーツ性能と安全性とを両立し、最先端テクノロジーおよび高度な信頼性によって、快適でリラックスしたドライビングの歓びを約束し



ます。また、フルタイム4WDシステムは、余裕あるエンジン・パワー、精密なステアリングおよびサスペンション、標準装備のABSと一体となって、傑出したアクティブ・セーフティ(能動的安全性)をもたらします。各コンポーネンツは入念な設計によって優れた信頼性を獲得しており、ニュー アルファ155Q4はこのカテゴリーにおける最高レベルの車となっています。

この車は印象的なウェッジシェイプ・ライン、空気抵抗を低減するよう設計されたボンネットとフロントガラス、ハイデッキ・テールなど、最新のエアロダイナミクス設計を採用しています。インテリアは人間工学に基づいて入念に設計され、ドライバーと乗員にスポーティで自然な乗り心地を提供します。室内の仕上げや装備類にも細心の注意が払われ、エレガントな雰囲気と独自の個性を感じさせてくれます。

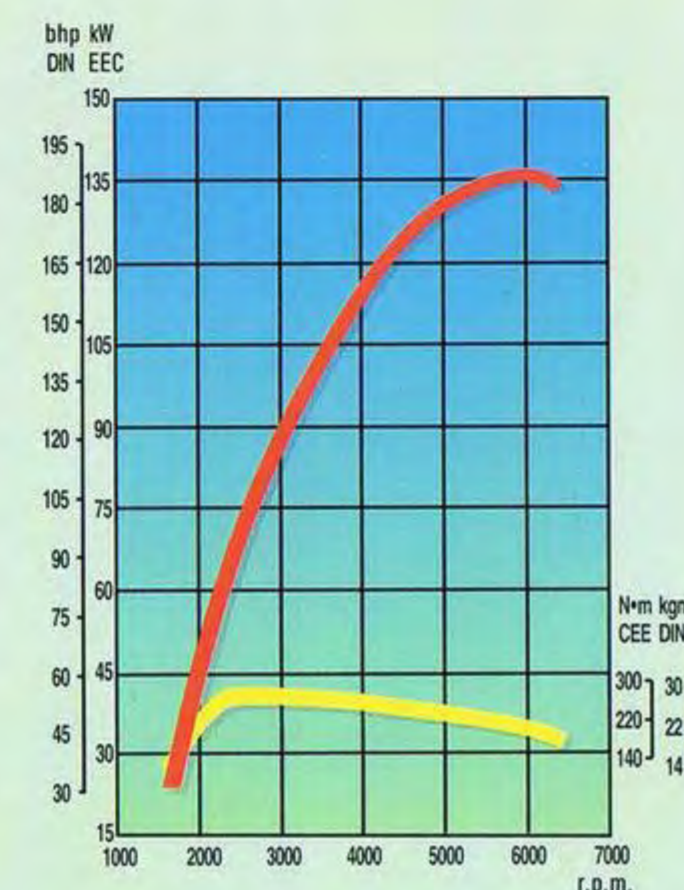


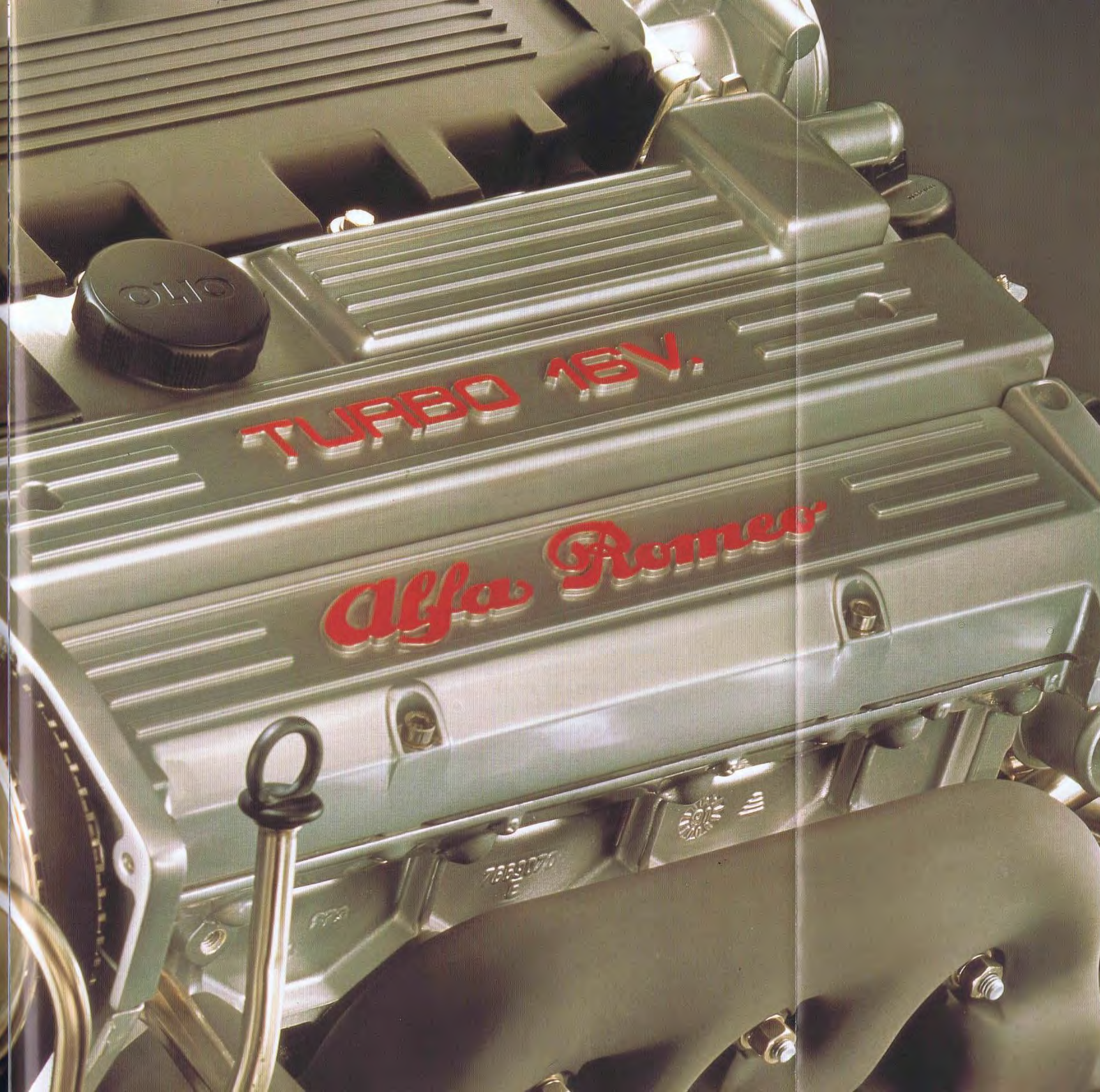
Turbo 16V: 最先端テクノロジーを投入し、 驚異のパフォーマンスを実現。

ニュー アルファ155Q4のパフォーマンスは、精密な設計理念によって裏付けされています。

最先端テクノロジーの粋を結集した直列4気筒2.0ℓDOHC16バルブ・ターボ・エンジンは、コンパクトな設計になっており、エアロダイナミクス性能の向上にも大きく貢献しました。ツインカム・4バルブ・シリンダー・ヘッドは、燃料の不完全燃焼を防ぎ、エンジン・パフォーマンスを飛躍的に増大させます。また、4バルブ・シリンダー・ヘッドは、小型化が難しく慣性モーメントが大きい2バルブ・シリンダー・ヘッドに比べ、高いエンジン回転数を容易に得ることができるのです。

このエンジンはシングル・ターボ・ユニットを持つターボ・チャージャー・システムによって、185ps (DIN)もの最高出力を発揮します。シンプルな構造を追求して生まれた最適なシステムだと言えるでしょう。ギャレットT3ターボ・チャージャーはエンジンのテクノロジー・レベルを限界まで高め、慣性モーメントを効果的に抑えながら、あらゆる速度域において俊敏なアクセル・レスポンスをもたらします。





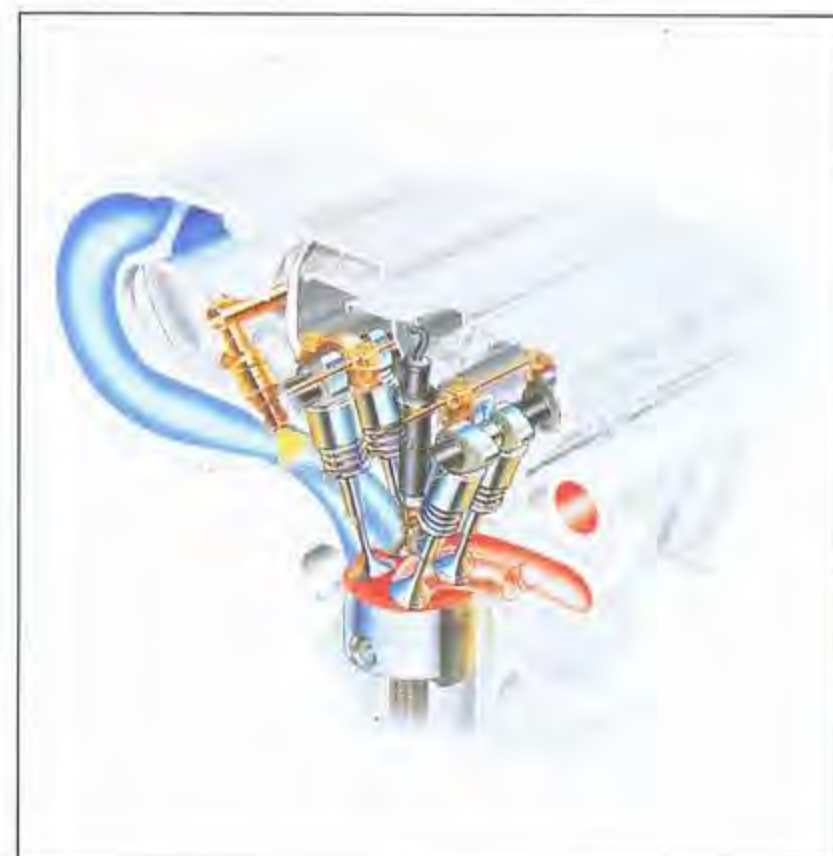
強烈なパワーを生み出すと共に、
環境保全にも配慮した直列4気筒
2.0 L DOHC16バルブ・ターボ・エンジン。



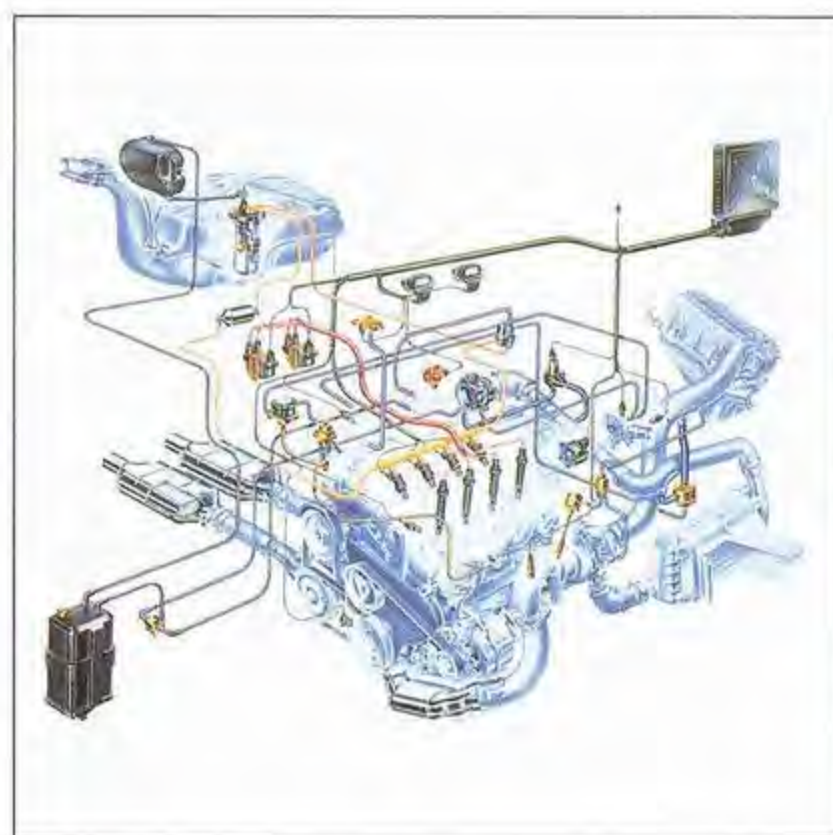
ウェスト・ゲート・バルブは過給圧を制御し、パワーを調節することで、エンジンの信頼性をよりいっそう高めています。この過給圧の効率はデジタル・コントロールによって最大限まで高められます。このシステムは最新のターボ・エンジンに不可欠であるインタークーラーを採用しています。インタークーラーは冷却したエアをシリンダーに送り、ターボ・チャージャーの効率を高め、エンジン・パワーを増大させると共に、エンジン自体の信頼性をも向上させる働きがあります。

最先端テクノロジーの導入によってパフォーマンスも飛躍的に向上し、ニュー アルファ155Q4の最高速度は225km/h(ヨーロッパ数値)に達しています。0→100km/h加速は7.0秒フラット(ヨーロッパ数値)を記録。さらに、30.3kgm/2,500rpmという最大トルクを発生し、力強くスポーティな走りをもたらします。

この革新的なターボ・エンジンは、先進テクノロジーと優れた設計という2つの要素を完璧に融合させています。システム全体はマルチポイント・インジェクションおよびソリッド・ステート・イグニッションの働きと相まって、ウェーバー・マレーリアWエレクトロニック・システムによって制御されています。燃料はコンピュータ制御され、完全に燃焼して、最大のパワーを生み出します。さらに、点火、過給圧、そしてノッキング防止のコントロールが常にマイクロコンピュータによってなされています。



4バルブ・シリンダー、
ツイン・オーバーヘッド・カム・タイミング・システム。

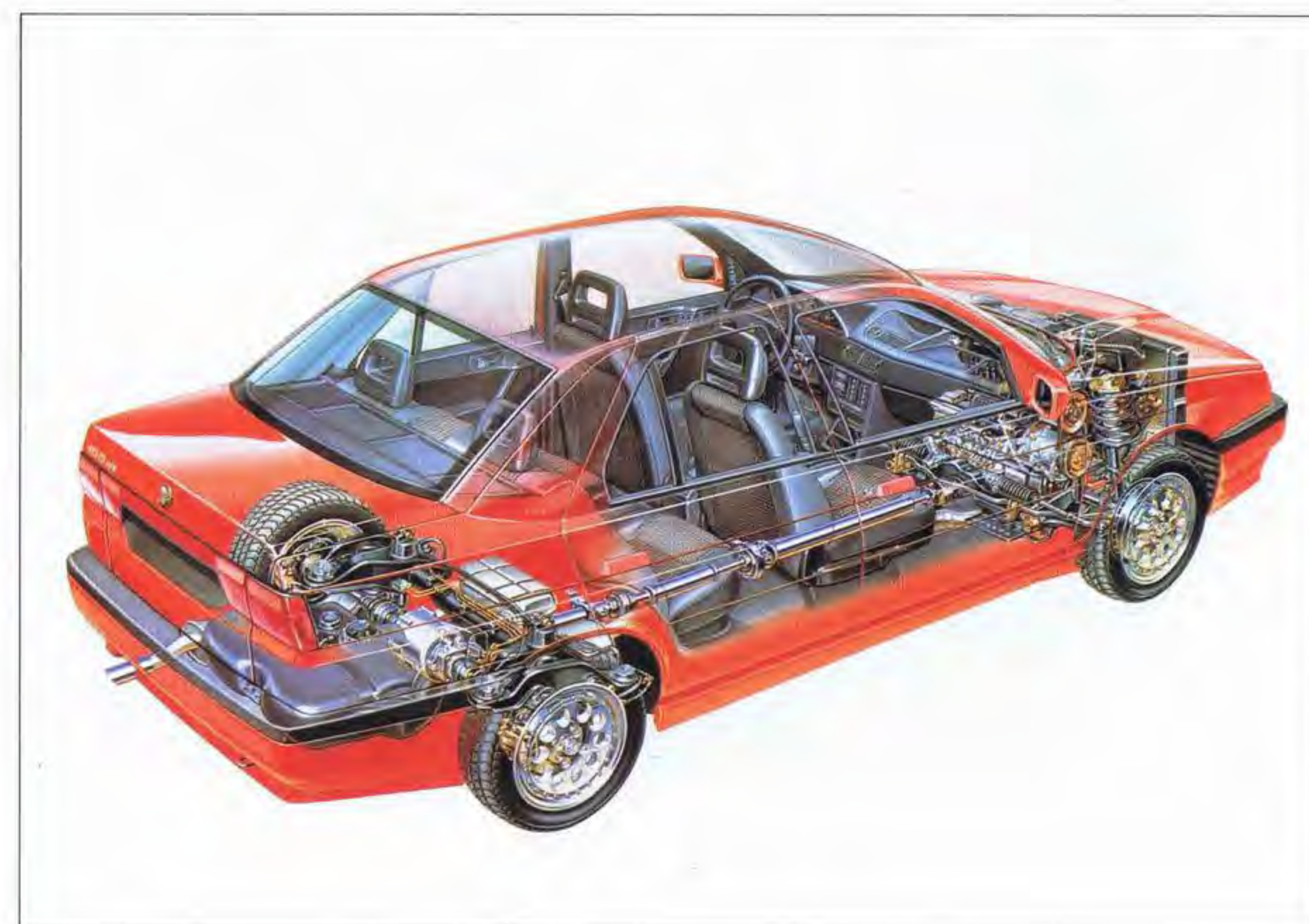


燃料供給および点火は
IAWエレクトロニック・
システムによって制御。

潤滑システムは高度なパフォーマンスを生み出すことを目的として設計されています。ピストンはオイルのジェット流で冷却され、エンジンが長時間に渡って高速回転する場合には、別のオイル・ラジエーターで冷却されます。

さらに、ニュー アルファ155Q4は環境保全に貢献するテクノロジーも導入しています。たとえば、排気システムにはラムダ・センサー付きの1基のプリカタライザーと2基の3元触媒コンバーターが装着されており、排ガスの中の公害成分を効果的に制御することができます。洗練されたテクノロジー、高度なパワー、優れた信頼性など、この直列4気筒2.0ℓ DOHC16バルブ・ターボ・エンジンは数多くの要素を統合し、アルファ ロメオならではのドライビングの喜びをもたらします。2基のカウンター・ローターティンギング・バランスー・シャフトはエンジンの振動を抑え、ターボ・システムは強力なパワーとトルクだけでなく静粛性も生み出します。

ハイクック・コンポーネンツを
特長とするニュー アルファ155Q4。



ドライバーが実感する 正確な操縦性能と 強烈なパワー。

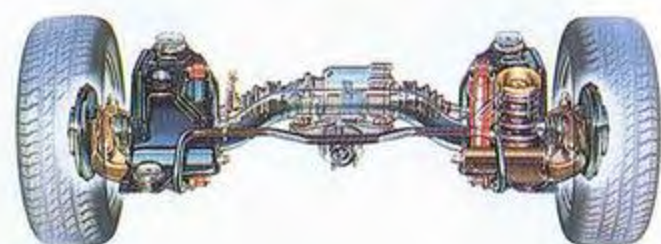
ニュー アルファ155Q4はエンジンの卓越した性能に合わせて、正確な操縦性能と高度なアクティブ・セーフティをもたらすシャーシを採用しています。また、この車は先進的な開発プロジェクトを通じて、アルファ ロメオならではの高い品質、優れたロードホールディング、確実な制動力、直進安定性、そして滑らかなギアチェンジを実現しています。なかでも、最新のエンジニアリングから生まれたフルタイム4WDシステムは、高性能エンジンが生み出す強烈なパワーを活かす理想的な装備となっています。駆動力は確実に路面に伝えられ、どのような状況であっても優れた安全性をもたらし、抜群のロードホールディングを実現します。

駆動力配分は状況に応じて自動的に調節されますが、通常はフロント47%、リア53%に設定されています。フロントとリアのグリップ力に差が生じた場合には、セントラル・デファレンシャルのファーガソン・ビスカス・カップリングが働き、駆動力を最適なバランスで配分します。

このビスカス・カップリングの重要なエレメントの一つは、中に含まれている粘着性の液体です。装置の内部には複数のソリッド・ディスクが組み込まれ、ドライブシャフトからフロントホイールにかけて、そしてもう一方のドライブシャフトからリアホイールにかけて配されており、互いに連動するようになっています。ディスク間の回転は徐々にリアアスルに伝わり、駆動力に転換されます。トーセン・デファレンシャルがトルクを配分すると、ホイールの負荷が生まれ、リアアスルは優れたグリップをもたらし、セルフロッキング・デファレンシャルが作動します。



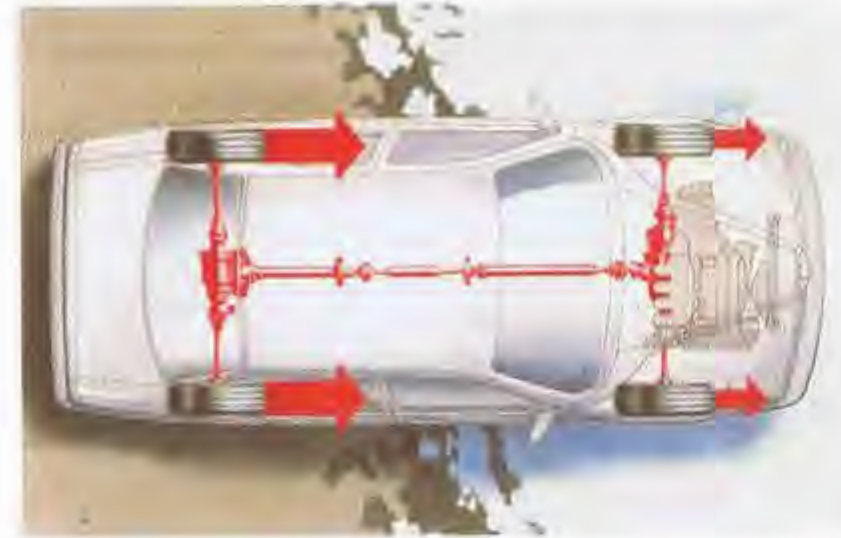
スポーティな走りを目的として
採用された4輪独立懸架と、
電子制御式可変ダンピング・システム。



このフルタイム4WDシステムは精度の高いメカニズムによって構成されており、車に素晴らしくダイナミックな走行性能をもたらします。ハイドロリック・サーボ・メカニズムを備えたステアリングは、確実なレスポンスを発揮し、優れた操縦性能と安全性を実現しています。さらに高い性能に対応するよう設計された4輪独立懸架のサスペンションは、あらゆる状況で信頼性に優れたトータル・パフォーマンスを発揮します。さらに、最適に調整されたスプリング、ダンパー、アンチロールバーが一体となって、力強い走り、極めて安定したロードホールディングを提供します。

ニュー アルファ155Q4は電子制御式可変ダンピング・システムも標準装備しており、よりスポーティな走りを可能にしています。このシステムは「オート」と「スポーツ」の2つのモードを備えています。「オート」モードは電子制御装置が走行速度、路面状況、ドライバーの操作による挙動変化を感知し、サスペンションをハードまたはソフトに自動的に設定します。「スポーツ」モードはダンパーの減衰力を一定に保つことにより、路面から受ける振動を効果的に抑制し、滑らかな高速走行をもたらします。

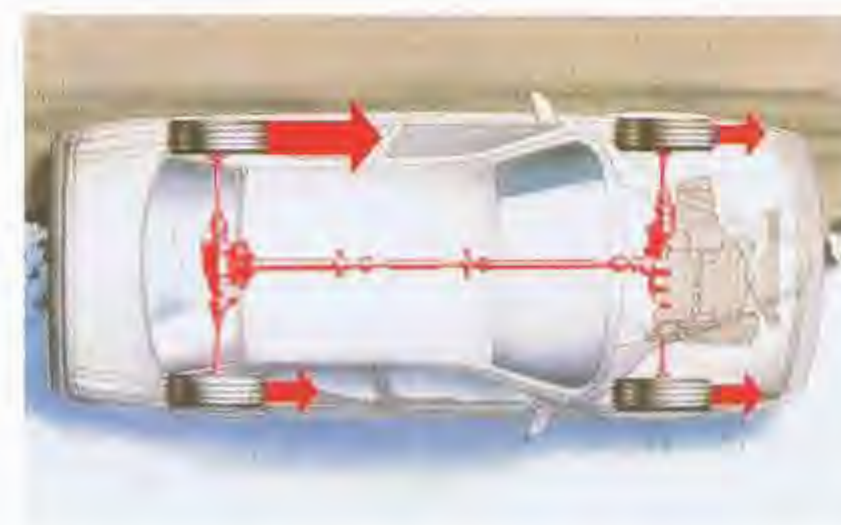
ブレーキ・システムもこの車の傑出したパフォーマンスに対応するよう設計されています。フロントにはベンチレーテッド・ディスク、リアにはディスクを採用。いずれも大径のサイズを採用し、長時間に渡る連続使用にも耐える性能を備えています。また、このブレーキ・システム自体は安全性を考慮して、X型配置のデュアル油圧回路になってます。



ファーガソン・ビスカス・カップリング



ファーガソン・ビスカス・カップリングによるトルク配分は、路面状況が左右で異なる場合に効果を発揮します。



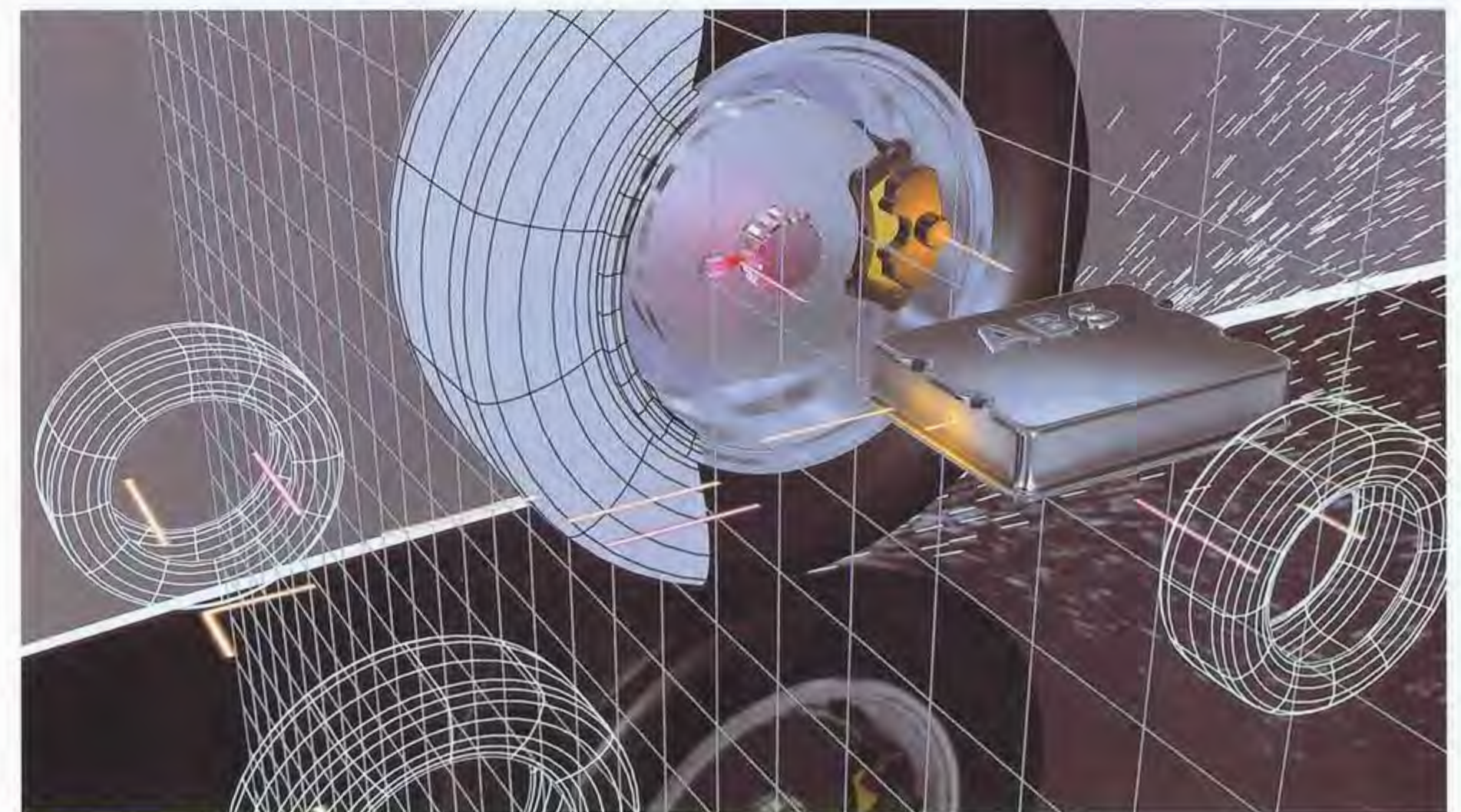
トーセン・リヤ・デファレンシャル



トーセン・リヤ・デファレンシャルはリヤホイールに負荷を与え、最適なグリップ力とバランスをもたらします。

ニュー アルファ155Q4の優れた信頼性は、パワフルなブレーキ・キャリパー、ダブル・サーボ・ブレーキによっても裏付けられています。これによって、ドライバーはブレーキ・ペダルを軽く踏むだけで、確実な制動力が得ることができるのです。ABS/アンチロック・ブレーキング・システムは標準装備となっており、能動的な安全性を効果的に高める働きをします。このシステムは状態が悪く、滑りやすい路面において、自動的にホイール・ロックを防ぎます。つまり、緊急の際に急ブレーキを踏んでも、ホイールがロックすることなく、ドライバーは車を確実に操作して危険を回避することができるのです。この最新型のABSは、6基のセンサーと4基のアクチュエーター・ソレノイドを備えており、個々のホイールを独立して制御します。フルタイム4WDシステムの特性と相まって、能動的な安全性を向上させているのです。ABSのコントロール・ユニットは、燃料供給および点火を行うIAWシステムと連結しており、トータルに電子制御されます。

標準装備の最新型ABS/アンチロック・ブレーキング・システム。

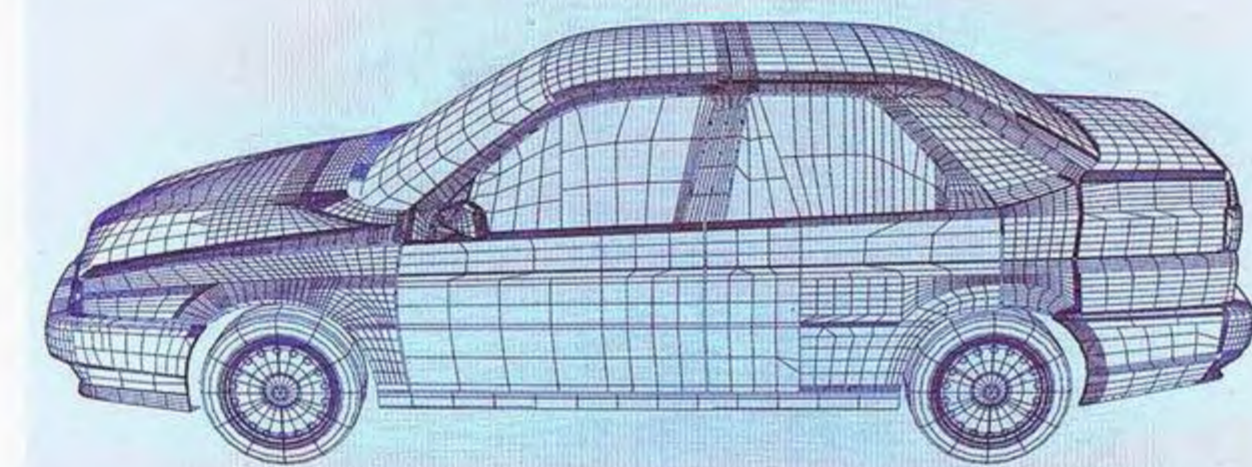


先鋭的な ウェッジシェイプの中に、 独自の伝統美を融合。

ニュー アルファ155Q4は、アグレッシブでありながらも気品あふれるスタイリングによって、力強くスポーティな表情を生み出しています。

躍動的なウェッジシェイプ・ラインと、個性的な細部のデザインは徹底的な風洞実験から生まれたものであり、ボディのエアロダイナミクス性能を大きく向上させると共に、揚力を抑え、優れたロードホールディングをもたらします。

いつの時代も本物のスポーツカーを世に送り出してきたアルファ ロメオは、真のスポーツカーたるべく、低く鋭敏に構えたニュー アルファ155Q4に、伝統美だけでなく、ポリエリプティカル・ヘッドライトなどの現代的な要素も与えました。ボンネットから始まる先進性と伝統美が融合したボディラインは、フロント・グリルとコントラストを見せながら、調和の取れたボディ・フレームを形作っています。適度な傾斜を与えられた大きなウインドースクリーンは、すべての方向に対して優れた視認性を獲得しています。車のウェッジシェイプ・ラインはサイドのリブによってさらに強調されます。また、ボディのサイド部は車のスタイリングとエアロダイナミクス性能を向上させると共に、ホイール・アーチの優れたデザインとも相まって、ボディ下部の空気の流れを整えます。リアピラーとウエスト・ラインは素晴らしい調和を見せ、ハイデッキ・テールによって全体のウェッジシェイプ・ラインが見事に完結しています。







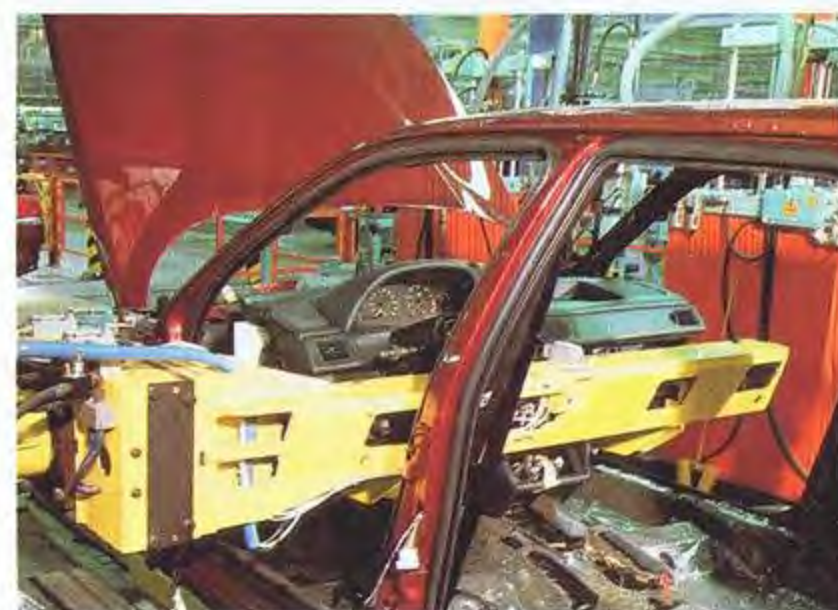
綿密な開発プロジェクトによって、 高度な安全性と品質を実現。

ニュー アルファ155Q4は先進的な開発プロジェクトを通じ、優れたスポーツ性能と安全性をもたらしました。また、その結果として、革新的な生産テクノロジーや精度の高いメカニカル・コンポーネンツが生まれたのです。

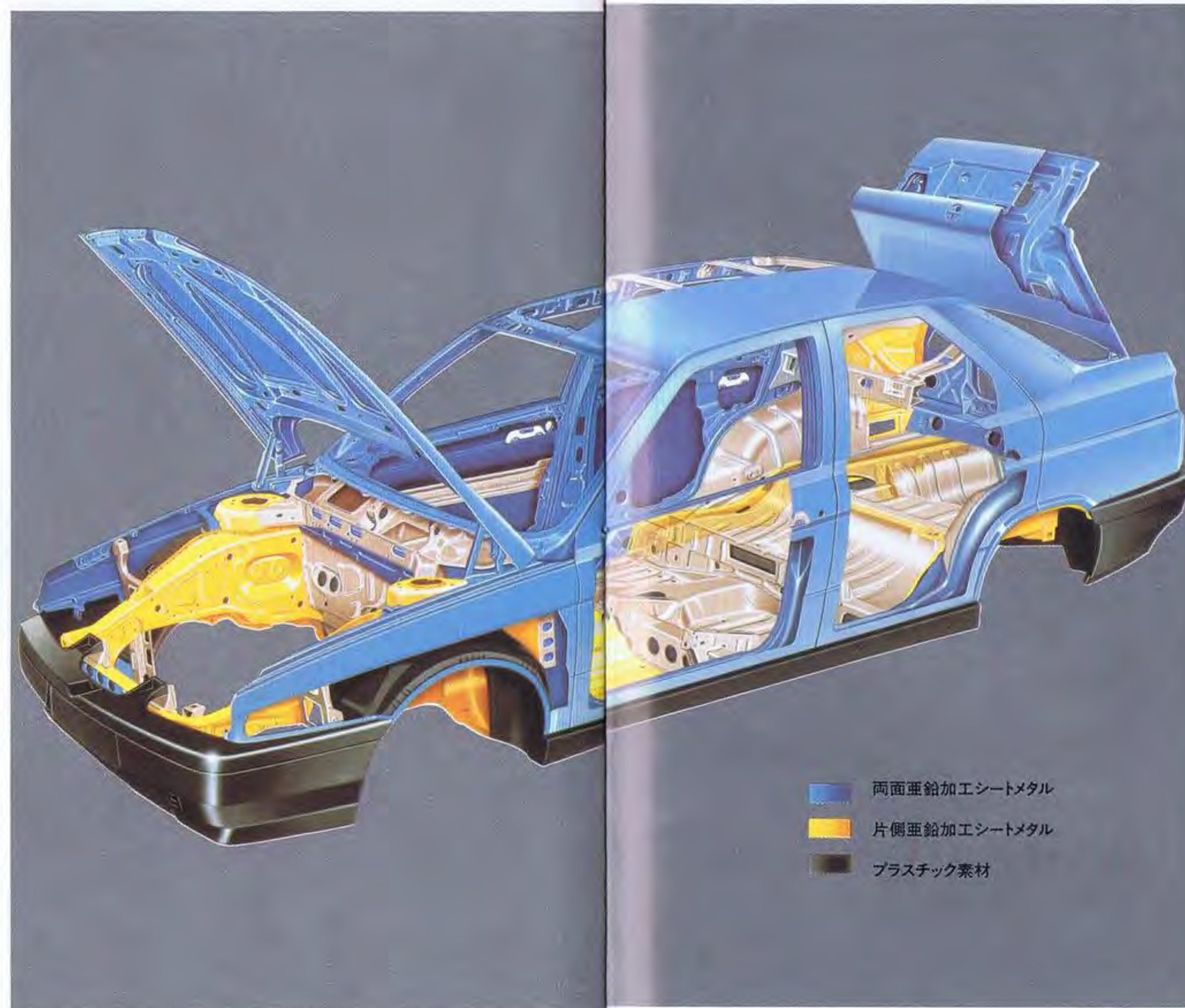
車の形状および構造はコンピュータによって精密に計算されています。このコンピュータはどのボディ・パーツが最も金属疲労を起しやすいか、どこに最も柔軟な鋼板を使用すべきかなどの計算も行います。なぜなら、軽量で、弾力性に富んだボディを持つ車こそが、最もパワフルな車となるからです。

さらに、ボディは衝突時に計算通りに変形して、衝撃を吸収する機能を持っています。このようなドライバーおよび乗員に対する保護機能によって、車は大きな受動的安全性を発揮するのです。吟味された素材や優れた生産テクノロジーの導入も、車の耐久性および信頼性を向上させる決め手になります。たとえば、ボディシェルにシートメタルを採用した場合には、それが耐久性に優れた素材であっても、常に外気にさらされることを考慮し、腐食防止のための亜鉛メッキが必要最大限に渡って施されました。

車内のフロントパネルは
ロボットによって自動的
かつ精密に取り付けられます。



車の品質を長期間に渡って保持する、
腐食防止のための亜鉛メッキ。



ニュー アルファ155Q4の優れた能動的安全性は他の追随を許しません。車の完璧なバランスは卓越したロードホールディングをもたらし、ABSをはじめとした信頼性あふれるブレーキ・システムは、いかなる路面状況であっても最短の制動距離を約束します。設計の際にはドライビング・ポジションも十分に考慮されました。リラックスできる居住空間、装置や計器の合理的な配置、広々とした視界、そして容易な操縦性などによって、正確さと安全性に裏付けされたドライビングの喜びが生まれます。



各コンポーネンツは車に装着される前の
サブアセンブリーで、
厳格な生産工程チェックを受ける。



洗練性と機能を追求した、 個性的なコックピット。

ニュー アルファ155Q4は、その印象的な外観にふさわしく、スタイリッシュなインテリア空間を創造しています。そこにはスポーティ・ダイナミズムを基調とする、高度な機能性とラグジュアリーが息づいています。また、厳選されたファブリック素材、洗練された色調、高級感を追求した仕上げなども、インテリアの品位を高める重要なポイントになっています。すべての部分が入念に設計され、機能性や実用性の向上にも十分な配慮が払われました。室内は実に広く、緻密な設計とエアロダイナミクスの研究から生まれた優れた静粛性も、快適さを深める役割を果たしています。

人間工学の研究成果を活かしたラップ・ラウンド・タイプのシートはペロア地を採用しており、調和の取れた色調となっています。細部へのこだわりはドアパネルにも見ることができます。シートおよび他のインテリアと見事に調和しながら、高級感とくつろぎに満ちた居住空間を作り上げています。このスポーティでエレガントなインテリア空間には、数多くの実用的な装備も配されています。たとえば、多くの小物入れやダッシュポケットは、収納を高めるために役立っているのです。

ニュー アルファ155Q4は優れた高速性能、リラックスしたドライビングと共に、快適でクオリティの高い車内空間を実現しているのです。オートマチック・クライメイト・コントロール・システムは常に車内環境を快適に保ち、冬季にはオートマチック・エアコンディショナーの加湿器としても働きます。

最適なドライビング・ ポジションと共に、 優れた操縦性を創造。

コックピットはすべてにおいて優れた視認性を確保しており、ドライバーが運転に集中できるように設計されています。シートは多くの調節装置を有し、ドライバーは自分に合った最適なドライビング・ポジションを得ることができます。スポーティなレザー製ステアリングホイールは、角度調節が可能なチルト・ステアリングとなっています。フロントパネルは高級感にあふれ、防眩処理が施されており、スタイリッシュなデザインと安全性を同時に実現しています。あらゆる装置や計器は人間工学に基づき、最適な設計とポジションを与えられており、ドライバーが誤操作する可能性を排除しています。インストルメントパネルはアルファ ロメオ独自のスポーティなドーム型を採用しており、スピードメーター、レプカウンター、油圧計、水温計、燃料計、そして時計が整然と配されています。チェックパネルは、何か異常が起こると点灯し、エンジンとメカニズムに関する情報を、ドライバーに素早く確実に知らせます。ギアシフトやペダルなどの基本的なコントロール装置は、快適な高速走行と安全性を実現するために、合理的なポジションに配置されています。ステアリングコラムの両サイドにある2本のレバーには、ライト、ワイパー、ウィンカーのスイッチが取り付けられています。このため、ドライバーはステアリングから手を離すことなく、運転に集中しながら、すべてのコントロール装置を確実に操作することができます。



SPECIFICATIONS

運輸省認定値

車名		The New ALFA 155 Q4
寸法・重量		
全長	(mm)	4,445
全幅	(mm)	1,695
全高	(mm)	1,440
ホイールベース	(mm)	2,540
トレッド 前/後	(mm)	1,480/1,400
車両重量	(kg)	1,480
乗車定員	(名)	5

エンジン		
種類	水冷直列4気筒DOHC16V・インタークーラー・ターボ	
総排気量	(cc)	1,995
ボア×ストローク	(mm)	84.0×90.0
圧縮比	8.0:1	
最高出力	(ps/rpm) (DIN)	185/6,000
最大トルク	(kgm/rpm) (DIN)	30.3/2,500
燃料供給装置	電子制御式燃料噴射装置 ギャレットT3ターボ・チャージャー(インタークーラー付き)	
燃料種類	無鉛ガソリン	
燃料タンク容量	(ℓ)	60

動力伝達装置		
クラッチ形式	乾燥単板ダイヤフラム式	
変速機操作方式	フロアチェンジ式5速マニュアル	
変速比	1速	3.500
	2速	2.176
	3速	1.524
	4速	1.156
	5速	0.917
	後退	3.545
最終減速比	3.353	

操縦装置

ステアリング形式

ラック&ピニオン式パワーステアリング

懸架装置・タイヤ

サスペンション(前/後)

マクファーソン式独立懸架/トレーリングアーム式独立懸架

タイヤ

205/50 ZR15

ホイール

6J×15アロイ

制動装置

主ブレーキ形式(前/後)

ベンチレーテッド・ディスク/ディスク

MAJOR EQUIPMENTS

エクステリア

ハロゲンヘッドライト

●

ティンテッドガラス

●

デミスト機能付き電動ドアミラー

●

電動ウインドー

●

フロント・フォグライト

●

リヤ・フォグライト

●

ABS

●

電子制御式可変ダンピング・システム

●

電動サンルーフ

▲

インテリア

オートマチック・エアコンディショナー

●

アジャスタブルシートベルト

●

パワーステアリング

●

リモートコントロール付集中ドアロック

●

チェックパネル

●

電動チューナー付きカセットデッキ

●

タコメーター

●

油圧計

●

水温計

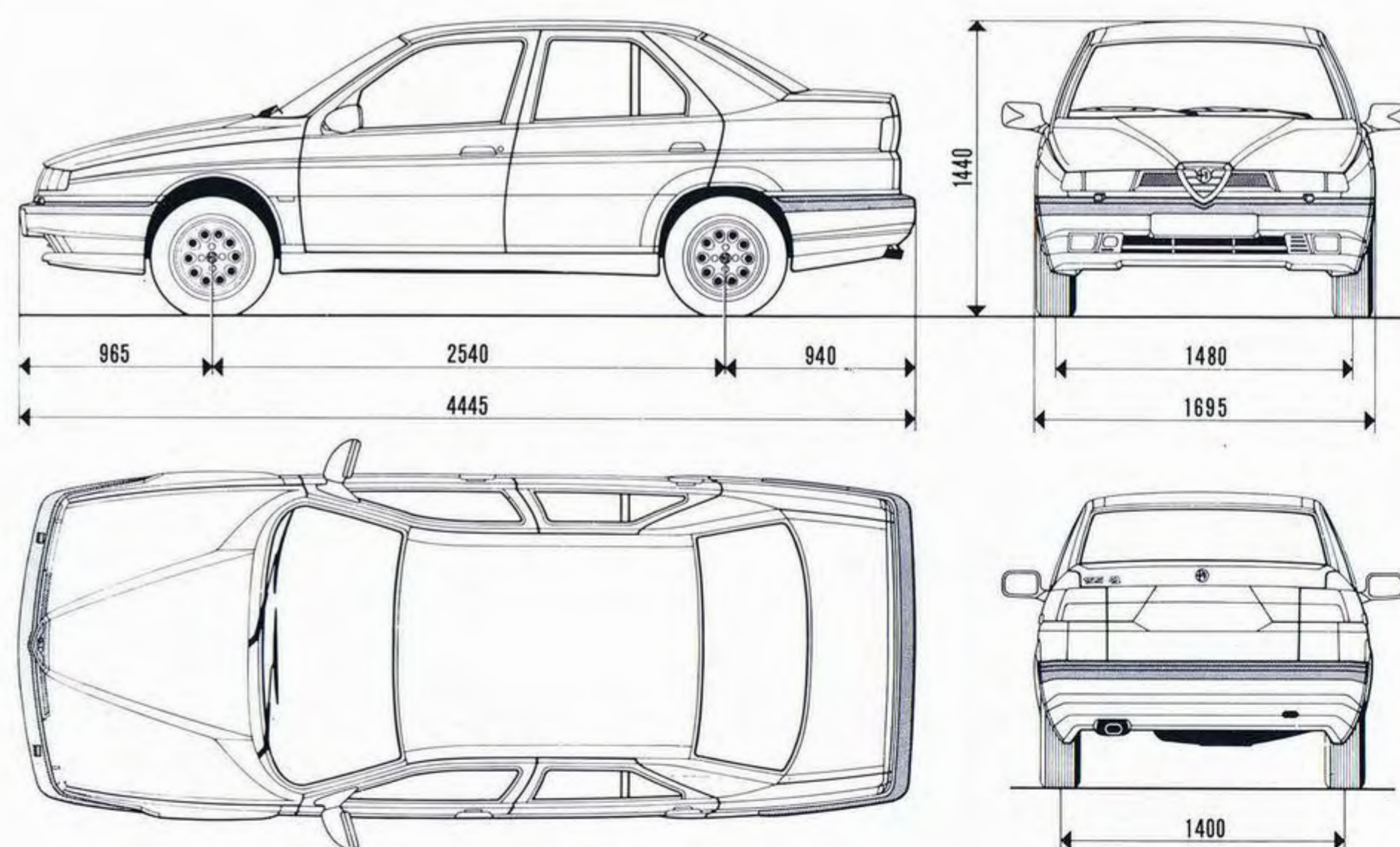
●

グローブボックス

●

●=標準装備 ▲=オプション

写真はヨーロッパ仕様のため、日本仕様車とは一部異なります。また、表記された諸元・仕様ならびに装備は改良のため予告なく変更される場合があります。



The data, descriptions and illustrations are purely indicative and the products may present different characteristics for manufacturing reasons. Alfa Romeo reserves the right to make changes to its product. Some of the equipment described and/or photographed in the brochure is optional. We refer you to the price list for a complete description.

Printed in Italy - Ediz. Japan - 9210-2315 - Tipolito Maggioni

Fiat and Alfa Romeo Motors Japan





twin
spark
2.0

155



155

twin
spark
2.0



New ALFA 155 Twin Spark

精悍なスタイリングに映える、純粋なスピリット。

ニュー アルファ155ツインスパークは一目見ただけで、その明確な個性を感じ取ることができます。ダイナミックで優雅なライン、精悍な表情、スポーティさ、快適な乗り心地、そして高度な安全性が一体となって、傑出した個性を創造しました。

新たなスポーツ・サルーンの流れを作り出すべくデビューした、ニュー アルファ155ツインスパーク。その存在はアルファ ロメオの自信と誇りを映し出し、内部には伝統と革新技術、気品とパワー、合理性と情熱が溶け合っています。いま、理性とスピリットが融合した車をここに。

ニュー アルファ155ツインスパークの独自の個性は、一見相反する要素を両立させることで生まれました。たとえば、その印象的なウェッジシェイプのラインは、優雅さとスポーティさを合わせ持っています。ここにも他とは一線を画す明確なアイデンティティを見ることができます。

このクラスとカテゴリーにおいて、ニュー アルファ155ツインスパークの性能と乗り心地は群を抜いており、アルファ ロメオ車ならではの輝きを放っています。最新の人間工学の研究成果を活かして設計されたドライバーズ・シートはもちろん、他の内装および装備も入念な造りによって最高レベルのクオリティと機能を実現。室内デザイン、素材、各種装置も、この車が卓越した存在であることを証明しています。すべての生産段階における精緻な工程と細心の



配慮は、優れた品質を保持するための重要なポイントであり、これはまた高度な信頼性と耐久性を生み出すことも意味します。アルファ ロメオは車作りの永い経験を活かし、絶え間ない技術革新への取り組みによって、この車に最高レベルの安全性を与えました。パワフルでありながら安全性に優れ、スポーティで高級感あふれるニュー アルファ155ツインスパークは、エキサイティングなドライビングの歓びをもたらす、際立った個性に支えられた比類なきプレステージを約束します。

Twin Spark: 独創のツインスパーク・エンジン。

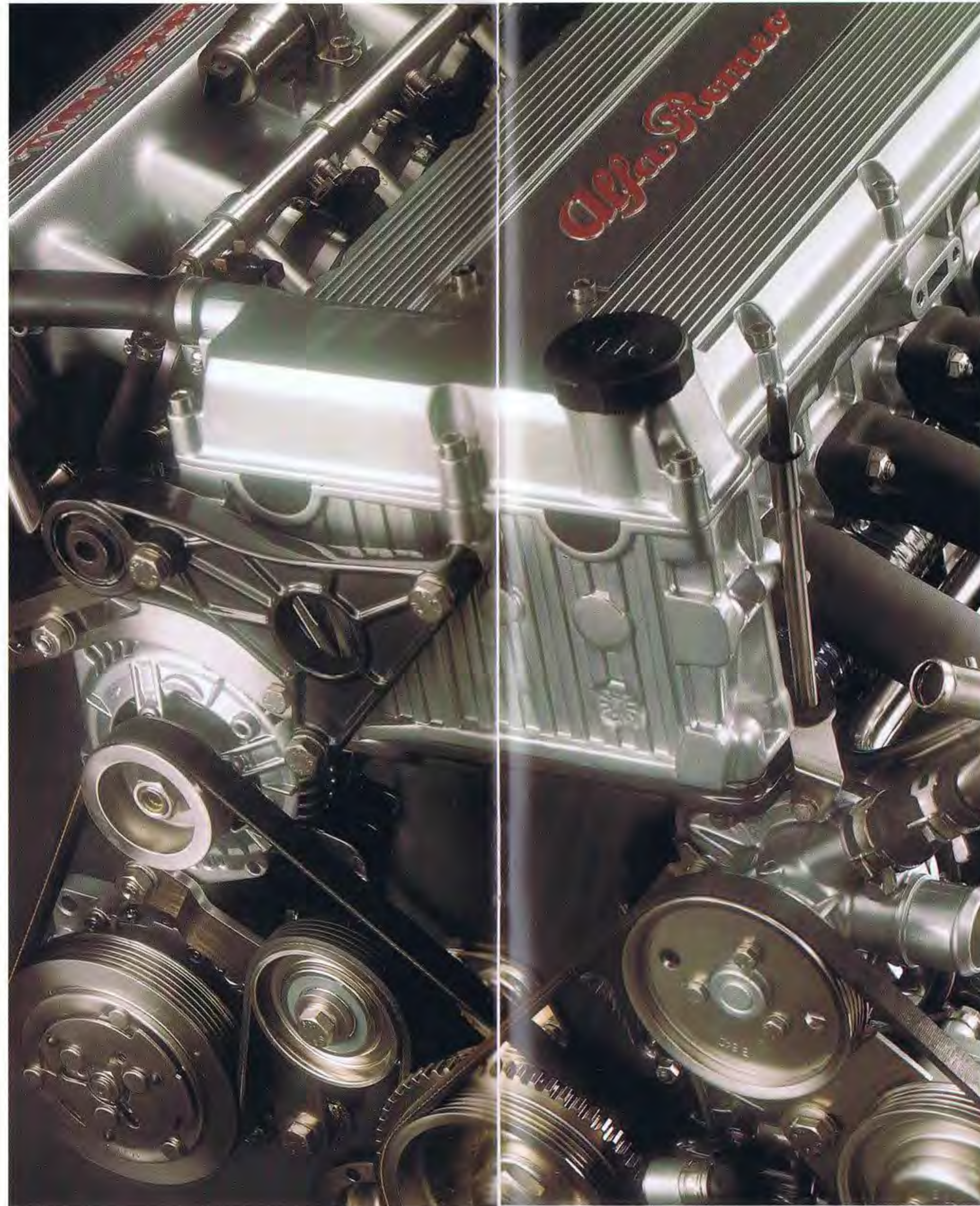
ニュー アルファ155ツインスパークは、アルファロメオの技術陣の頭脳が生み出した最も新しい車であり、テクノロジーの斬新さやパフォーマンスの素晴らしさにおいて、モータリングの世界の最前線に位置しています。

心臓部に搭載した直列4気筒2.0ℓDOHCツインスパーク・エンジンは、このクラスとカテゴリーにおいて最高レベルのパワーを発揮します。アルファロメオが特許を持つフェーズ・バリエーターを装着したダブル・オーバー・ヘッドカムシャフトによって、低回転域から強大なトルクを生み出します。

「ツインスパーク」とは二重点火を意味し、各シリンダーに2個のプラグを使用して、異なったポイントで2つのスパークを発生させ、エンジン効率と性能を飛躍的に向上させます。このシステムは排ガスの低減にも役立ち、3元触媒コンバーターの働きも相まって、環境に優しい車に仕上げられています。エンジン制御には最新のボッシュ製モトロニック1.7エンジン・マネージメント・システムを採用し、燃料供給と点火の精度を高めています。この先進的なエレクトロニクス・システムは自己診断および自己修正機能を持っており、極めて精密にエンジン制御を行います。

また、ツインスパーク・エンジンは最高出力143ps/6,000rpm (DIN/ヨーロッパ仕様車)、最大トルク19.3kgm/5,000rpm (DIN/ヨーロッパ仕様車)という抜群の性能を発揮するだけでなく、優れた燃費も実現しています。その秘密はスムーズな燃料供給とトルクあふれるエンジン特性にあり、これはドライビングの喜びを深める役割も果たしています。

新しく設計された
直列4気筒2.0ℓDOHC
ツインスパーク・エンジン。





精緻なメカニズムが生み出す、正確無比な操縦性。

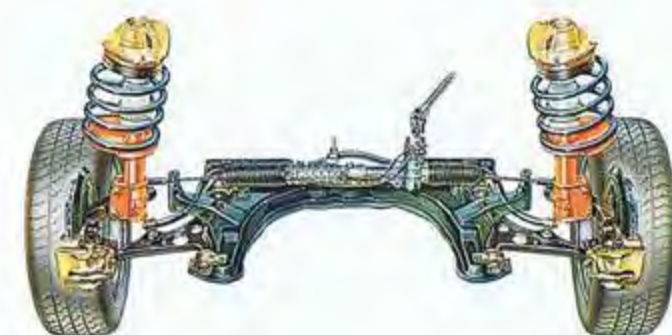
ニュー アルファ155ツインスパークの精緻なメカニズムは、エレクトロニクス・エンジン・マネージメントを徹底させるというアルファ ロメオの決断を映し出しています。この車は優れたロードホールディング、レスポンスの良いブレーキ、正確なステアリング、安定した挙動などによって、高度な能動的安全性を生み出します。

サスペンションは4輪独立懸架で、フロントにはマクファーソンストラット式、リヤにはトレーリングアーム式を採用。スタビライザーも標準装備しており、コーナリング時のロードホールディングを向上させ、車体のローリングを効果的に抑制します。

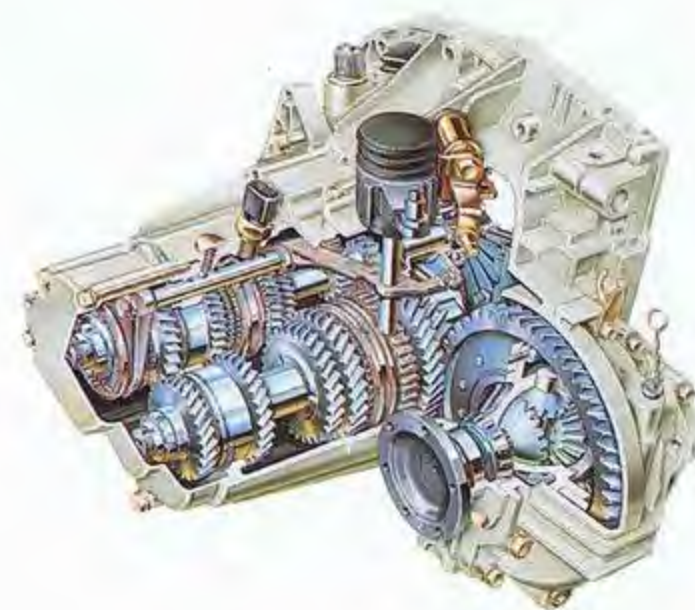
ステアリングは補助シャシーに組み込まれたステアリング・ギアによる油圧アシスト方式を採用しており、不要な動きを中和し、路面からのレスポンスを確実に得ることができます。



万一の衝突の際には、
衝撃を吸収するステアリングコラム。
角度の調節も可能。



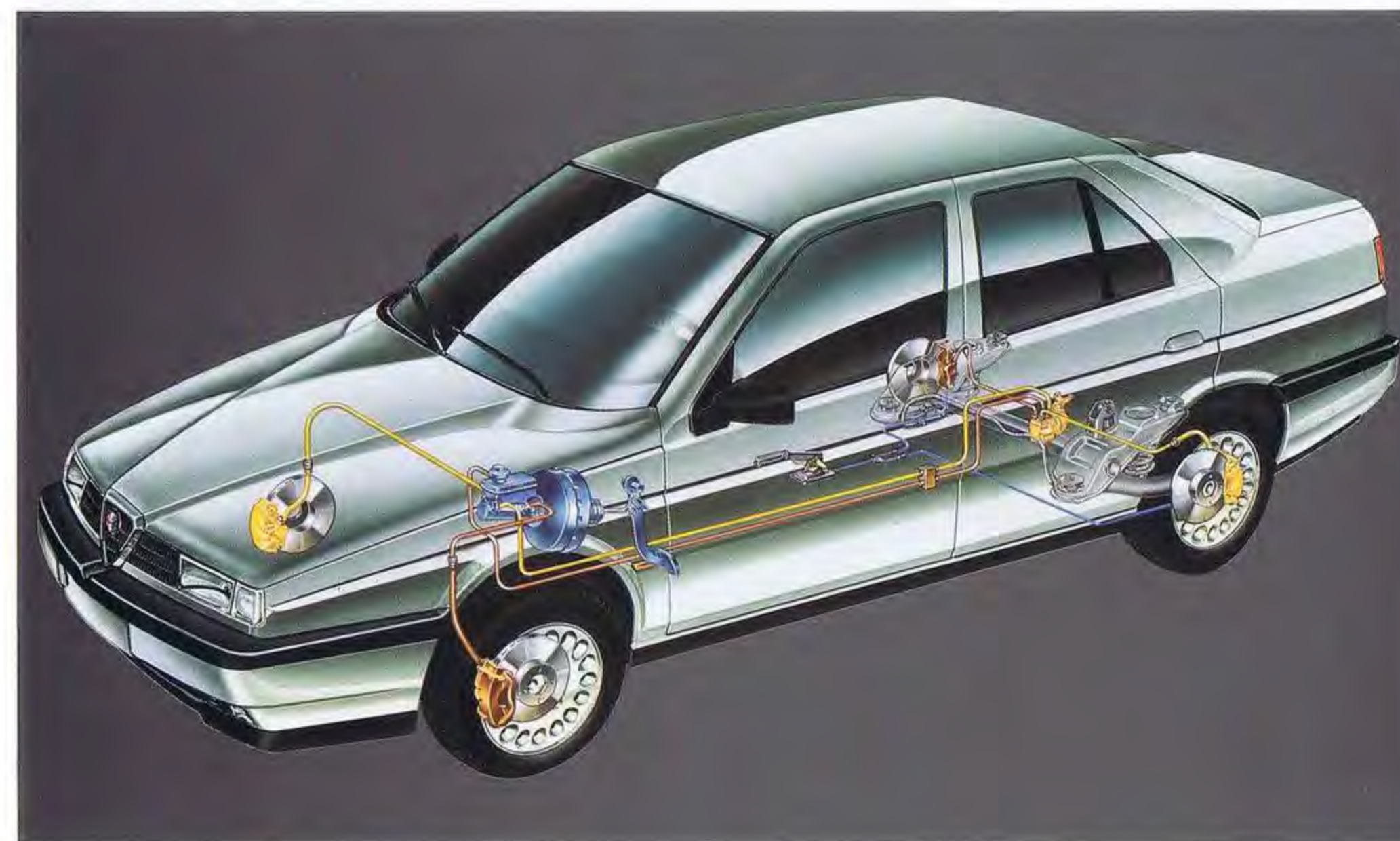
フロントおよびリヤのサスペンションは
独立懸架方式を採用。



強化された5速
マニュアル・トランスミッションを装備。

ニュー アルファ155ツインスパークは、ハイトルクを伝達できるよう強化された5速マニュアル・トランスミッションを搭載しています。シンクロナイズされた5速ギアは最適なギア比を与えられており、精密なギアの噛み合い、優れた静粛性などを特長としています。もちろん、5速ギアの使用時にも、アルファ ロメオ伝統のパワーあふれる走りをもたらします。ブレーキ・システムもアルファ ロメオの伝統に従って高い性能が与えられており、確実な制動力をもたらす4輪ディスク・ブレーキを採用しています。これによって、ドライバーは安全性に裏付けされた、ダイナミックなドライビングの喜びを味わうことができます。

確実な制動力をもたらす
高性能4輪ディスク・ブレーキを標準装備。



見る者を魅了する、 ひととき印象的なライン。

ニュー アルファ155ツインスパークの洗練されたウェッジシェイプのラインは、徹底的な風洞実験と、細部に渡る入念な設計から生まれました。この結果、優れたエアロダイナミクス特性と、他にはない個性あふれる表情を実現しています。盾型のラジエーターグリルに見られるアルファ ロメオの伝統的なモチーフは、照射能力を高めた新型ポリエリプティカル・ヘッドライトなどの採用によって、いっそう現代的なデザイン要素が加味されています。ウェッジシェイプ・ラインは、高速走行時にボディを路面にしっかり抑え、優れたロードホールディングを発揮する効果をいっそう高めます。また、あらゆる方向の視野も改善され、この車の運転特性はさらに向上しています。たとえば、曲面をもった広いフロントウィンドーが前方視界を向上させ、流れるようなバルジを設けたボンネットは先端が絞り込まれ、一段と空力特性と操縦性が高められています。ボディのモールディングは側面の印象を深めるだけでなく、ウェッジシェイプの車の特性を強調する役割も果たしています。バンパーとボディのジョイント部はエアロダイナミクスを向上させる理想的な構造になっています。側面のライナーも同様の効果を発揮し、この車のスポーティな表情をさらに深めています。そして、優美さと鮮烈な個性を感じさせるニュー アルファ155ツインスパークのウェッジシェイプ・ラインは、斬新な形状を持つリヤビラーとテールエンドによって完結します。

エアロダイナミクスに関する圧力分布図。0.30という優れたCd値を達成し、燃費の向上も実現。



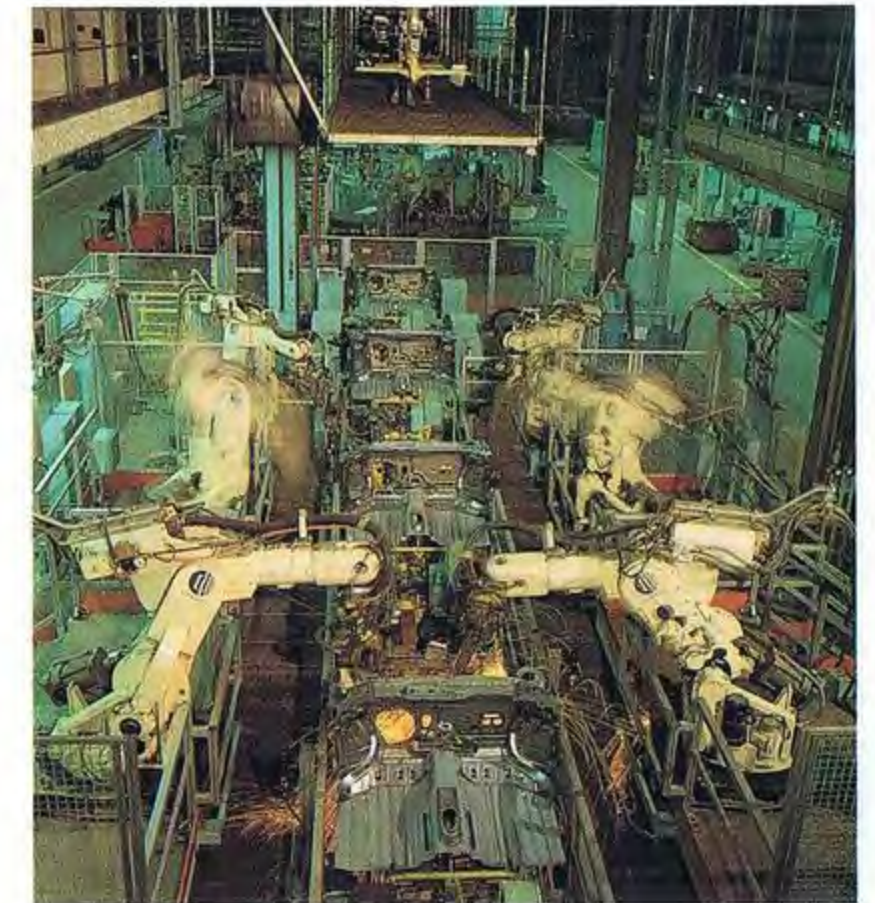
先進思想から生まれた、新たな品質基準。

ニュー アルファ155ツインスパークは品質の面でも新たな基準を設定しています。これは図面作成から生産まですべての段階を統括したプロジェクトの中から生まれました。さらに向上したトータル・クオリティおよび信頼性は、高度な機能や安全性、そして高いリセール・バリューも実現します。

アルファ ロメオはこの車の開発にあたって、当初からオールラウンドな品質の高さを追求し、最先端コンピュータを積極的に活用しながら基本的な設計を行いました。その際、スタイリング、安全性、乗り心地、エアロダイナミクス、運転特性、信頼性まで、すべての要素が総合的に分析され、あらゆる相互作用が検討されましたが、その正確さをピンポイントまで高めたのはCAD/CAMなどのコンピュータ・システムでした。

設計段階では革新的なプログラムも採用されました。これは予想分析テクノロジーというべきものであり、将来発生する可能性がある問題点を発見し、事前に解決するというものです。完全性の追求はこれだけではありません。

155プロジェクトは実験室におけるシミュレーションテストと、路上での走行テストを組み合わせながら、完全性を追求していきました。走行実験は過酷な気象条件を持つ各国のドライバーが担当し、複雑なプログラムを完全に遂行することで、大きな成果を上げました。



サブユニットは組み立て前に
厳格な工程チェックを受けます。

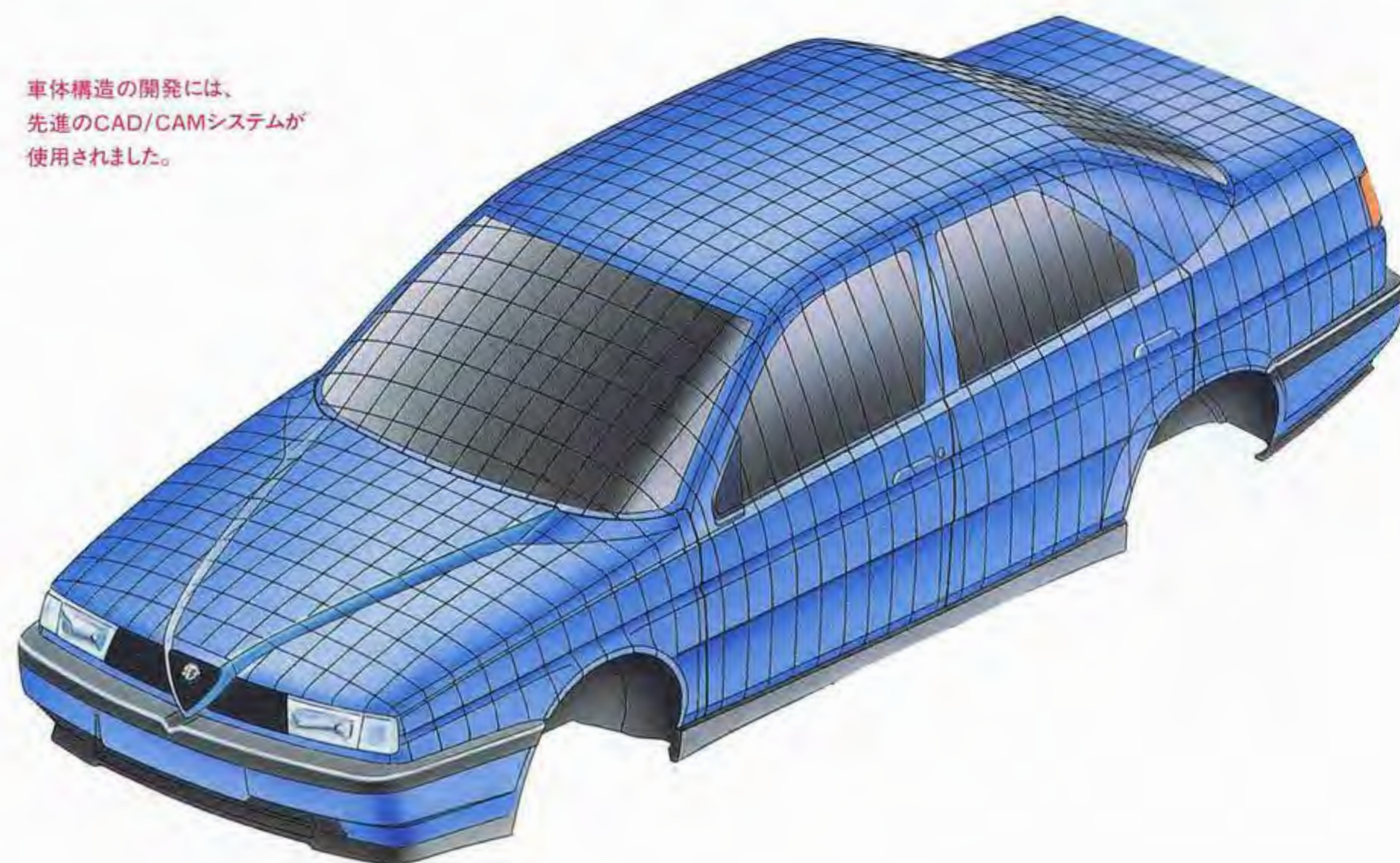
様々な防錆処理によって、
優れた品質が長期間に渡って
保たれます。



ロボットの導入によって、
精密なサイズ・チェックが行われます。
写真は車体のタック溶接の
様子です。

車の本格的な生産に入る前には、パイロット工場
でテストモデルが組み立てられました。これは、技術
の信頼性を事前にシミュレートするためのものです。
また、革新的テクノロジーの積極的な導入は、品
質と信頼性の向上に大きな役割を果たしました。
たとえば、生産ラインに導入したロボットは、自動
化されていない従来の生産工程で起こりうるミス
を排除し、当初のデザインを最終プロダクトに誤
差なく反映することに成功しました。

トータルな品質を追求するためには、各パーツの
素材の選択も重要になります。アルファ ロメオは
これに関しても完璧を追求し、その成果は優れた
機能性と統一されたスタイルを実現した内装トリ
ムなどに見ることができます。



車体構造の開発には、
先進のCAD/CAMシステムが
使用されました。

車体のスチール部品のサイズ・チェックや、溶接部
門での組み立てモニターは、精密なレーザー装
置で行われます。この工程管理はフロントパネル、
サスペンション、電気リカル・システムなどサブ
グループの生産過程でも実施されます。もちろん、
生産ラインにおいてもミスがないかどうかの最終
チェックが行われます。

ニュー アルファ155ツインスパークは生産ラインの
最後で、さらにもう一度チェックを受けます。それは
エンジン出力、エミッション・レベル、サスペンション、
ブレーキ・システム、防水などにおよびますが、こ
れらは最もデリケートな機能を制御するために必
要なものです。

精密なコンピュータ分析、実験室でのシミュレ
ーションテスト、革新的な生産テクノロジー、そしてシ
ステムチックな制御とテストによって、ニュー アルファ
155ツインスパークは高度な品質と信頼性が与え
られました。



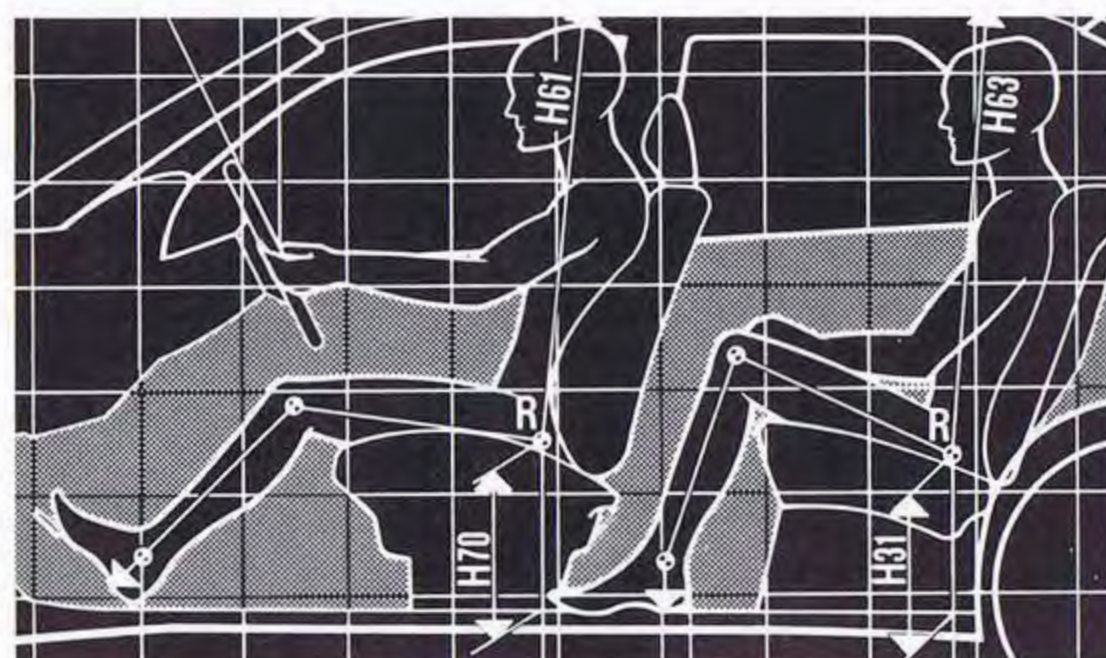
フロントパネルはロボットによって
自動的に取り付けられます。



内部にも注がれた、 美的感性。

ニュー アルファ155ツインスパークのスタイリングの素晴らしさは、ハイクラスの優雅な内装にも見ることができます。細部におよぶ入念な設計によって、高級なクオリティと多用性と実現。洗練されたベロア仕上げのシートや、各種装備のデザインの良さは、まさにエレガンスそのものです。

また、最高レベルの機能性を獲得するために、人と機械の関係を追求した人間工学の研究成果も十二分に活用されました。広々としたパッセンジャー・コンパートメント、使いやすいポケットやダッシュボード、そして数多くの小物入れなどが、この車の居住性を高めています。

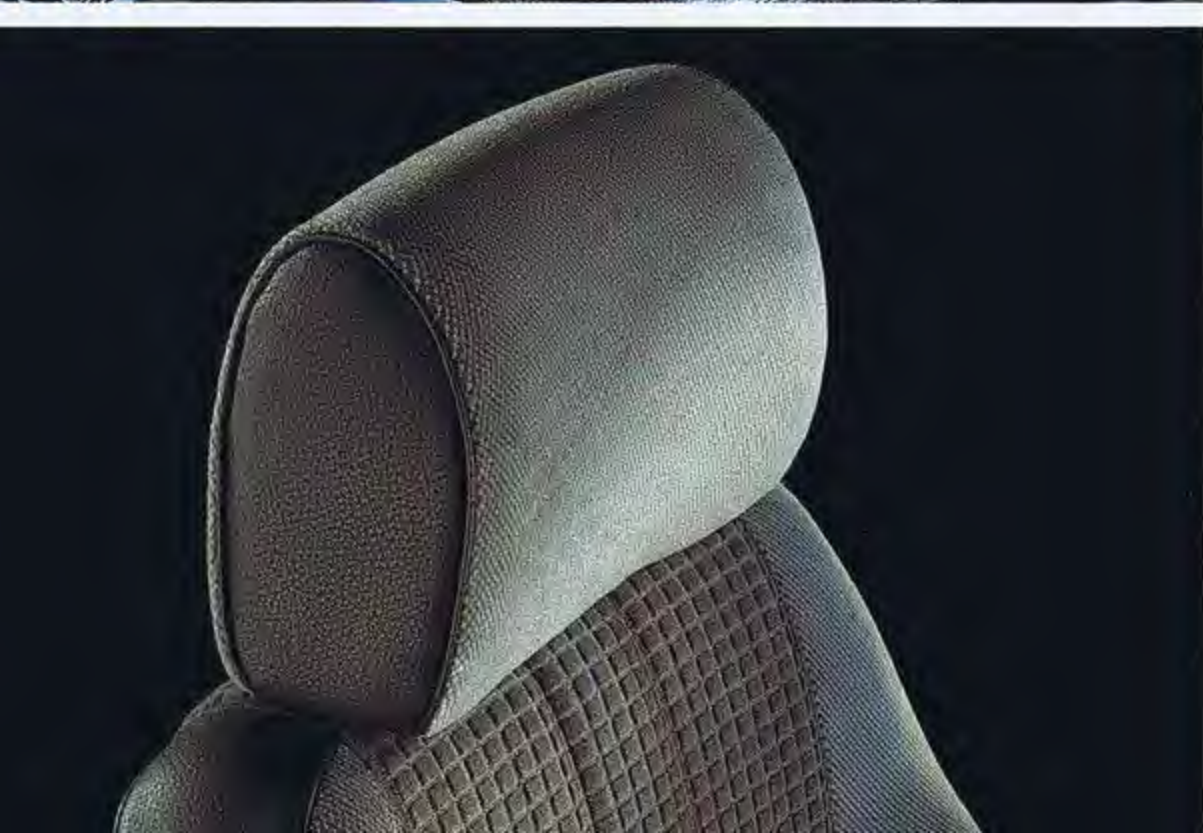


最新の人間工学の
研究成果が活かされた
フロントおよびリヤの室内。

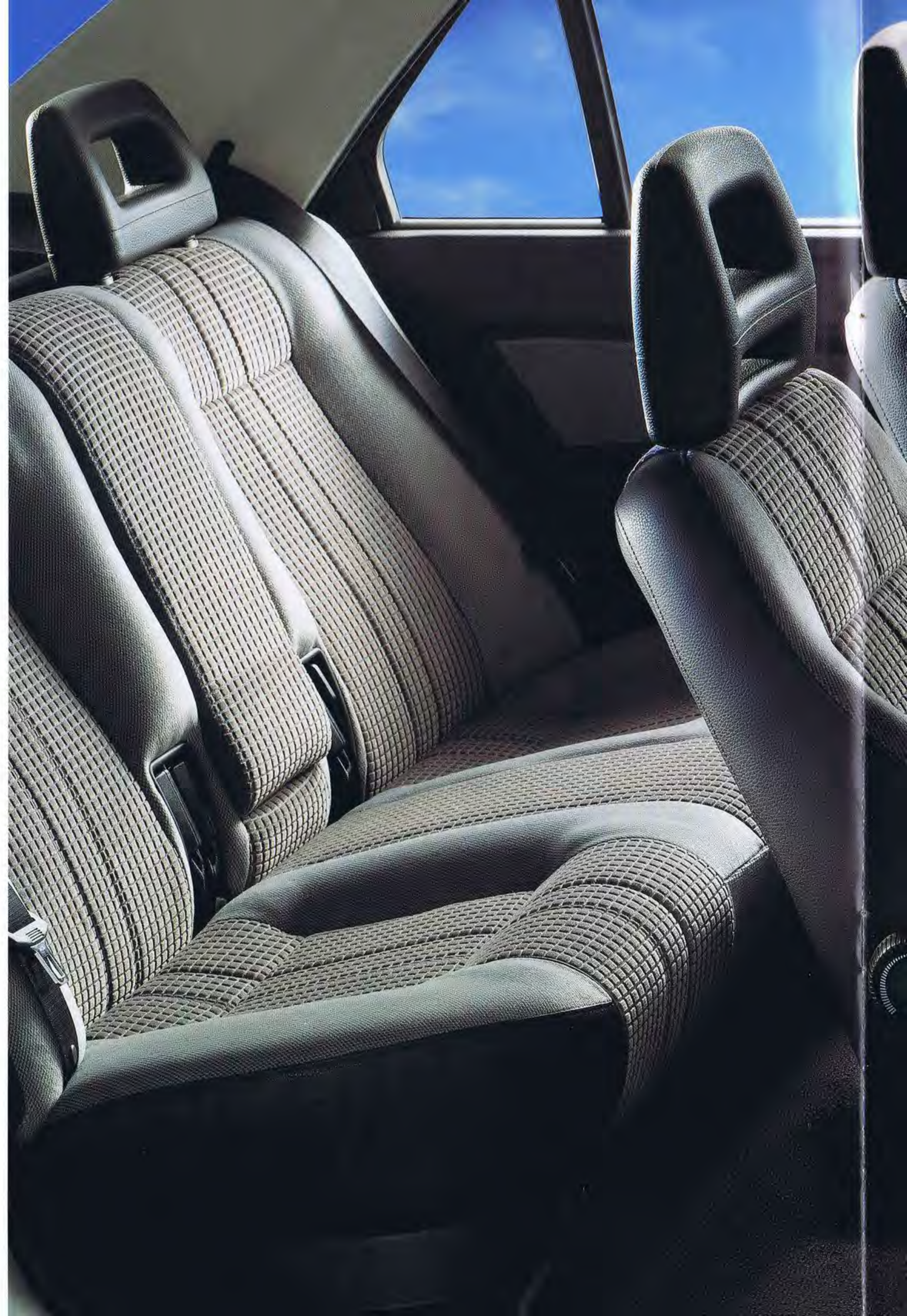


乗り心地に優れ、
ドライバーを確実にホールドする
高性能シート。





パッセンジャー・コンパートメントはメカニズム的にもエアロダイナミクスのにも防音構造になっており、高速走行時でもノイズは低く抑えられます。室内は実に広く、各種の機能的な装備によってドライビングの楽しさや快適性はさらに高められます。たとえば、標準装備のクライメイト・コントロールは、常に快適な室内環境を実現します。ニュー アルファ 155 ツインスパークはすべてが計算された設計になっており、偶然は残されていません。



機能を追求し、 完成度を高めたコックピット。

ニュー アルファ155ツインスパークのフロントパネルとインスツルメントパネルは、デザイン、素材、配置のすべてに、最新の人間工学の研究成果が注がれています。使用している素材はソフトで格調高く、しかも耐久性に優れています。フロントパネルは安全性を考慮して、すべてが防眩処理されています。

室内設計はドライバーが最もくつろげ、あらゆる条件下で確実な運転ができるよう配慮されています。アルファ ロメオならではの雰囲気を感じさせるインスツルメントパネルの情報は、3本スポークのス

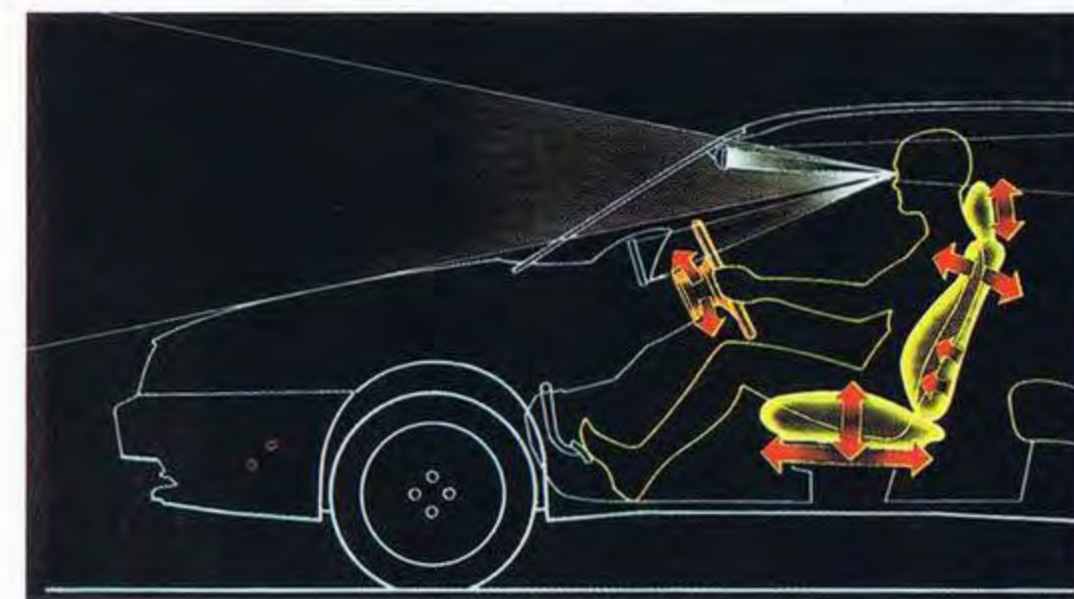


テアリングを通して、一瞬の内に読み取れるように配置されています。アナログ式の計器類はアルファロメオのスポーティな伝統を継承し、ドライビングに必要なすべての情報をドライバーに伝えます。合理的に配置されたチェック・パネルはアルファロメオ独自のものです。ステアリング両側のレバーには多くの装置のスイッチが設けられていますが、これはドライバーがステアリングから手を離さず安全に操作できるよう、人間工学に基づいて設計されました。

アルファ ロメオの伝統を
継承しながら、
機能性を追求した
個性的な
インスツルメントパネル。



人間工学的に見て、ドライバーが
最も正しく快適な姿勢で運転できるよう、
様々な調節装置が付けられています。





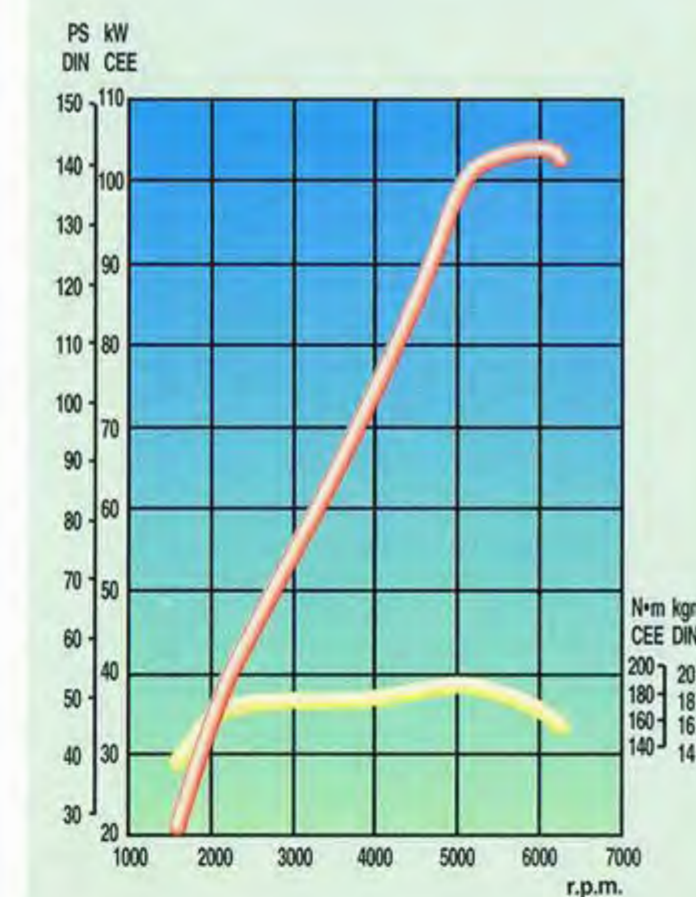
あらゆる状況で、
パワフルかつ快適な乗り心地を
提供するスポーツ・サルーン。

New ALFA 155 Twin Spark

パフォーマンスと快適さが調和したメカニズムの結晶体であり、優雅さとスポーティさを完璧に融合させた車、それがニュー アルファ155ツインスパークです。先進テクノロジーを投影した独創的なデザインが与えられ、発表以来、このクラスとカテゴリーを代表する車として評価されています。

直列4気筒 2.0ℓ DOHC ツインスパーク・エンジンはアルファ ロメオが特許を持つフェーズ・バリエーター、ボッシュ製電子モトロニック1.7マネージメント・システムなど最新の装備を有し、従来よりもさらに精度と性能を高めています。スムーズかつパワフルなエンジンに合わせて、足

回りなどすべてのメカニズムも強化されました。ニュー アルファ155ツインスパークを駆るドライバーは、心地よさと安心感に包まれながら、パワーあふれるダイナミックな走りを心から楽しむことができます。



ニュー アルファ155ツインスパークの
性能曲線およびトルク曲線。



155
twin
spark
2.0



SPECIFICATIONS(ヨーロッパ仕様車)

車名			The New ALFA 155 Twin Spark
寸法・重量			
全長	(mm)		4,445
全幅	(mm)		1,695
全高	(mm)		1,440
ホイールベース	(mm)		2,540
トレッド 前/後	(mm)		1,465/1,400
車両重量	(kg)		1,280
乗車定員	(名)		5

エンジン			
種類			水冷直列4気筒DOHC
総排気量	(cc)		1,995
ボア×ストローク	(mm)		84.0×90.0
圧縮比			10:1
最高出力	(ps/rpm) (DIN)		143/6,000
最大トルク	(kgm/rpm) (DIN)		19.3/5,000
燃料供給装置			電子制御式燃料噴射装置
燃料種類			無鉛ガソリン
燃料タンク容量	(ℓ)		63

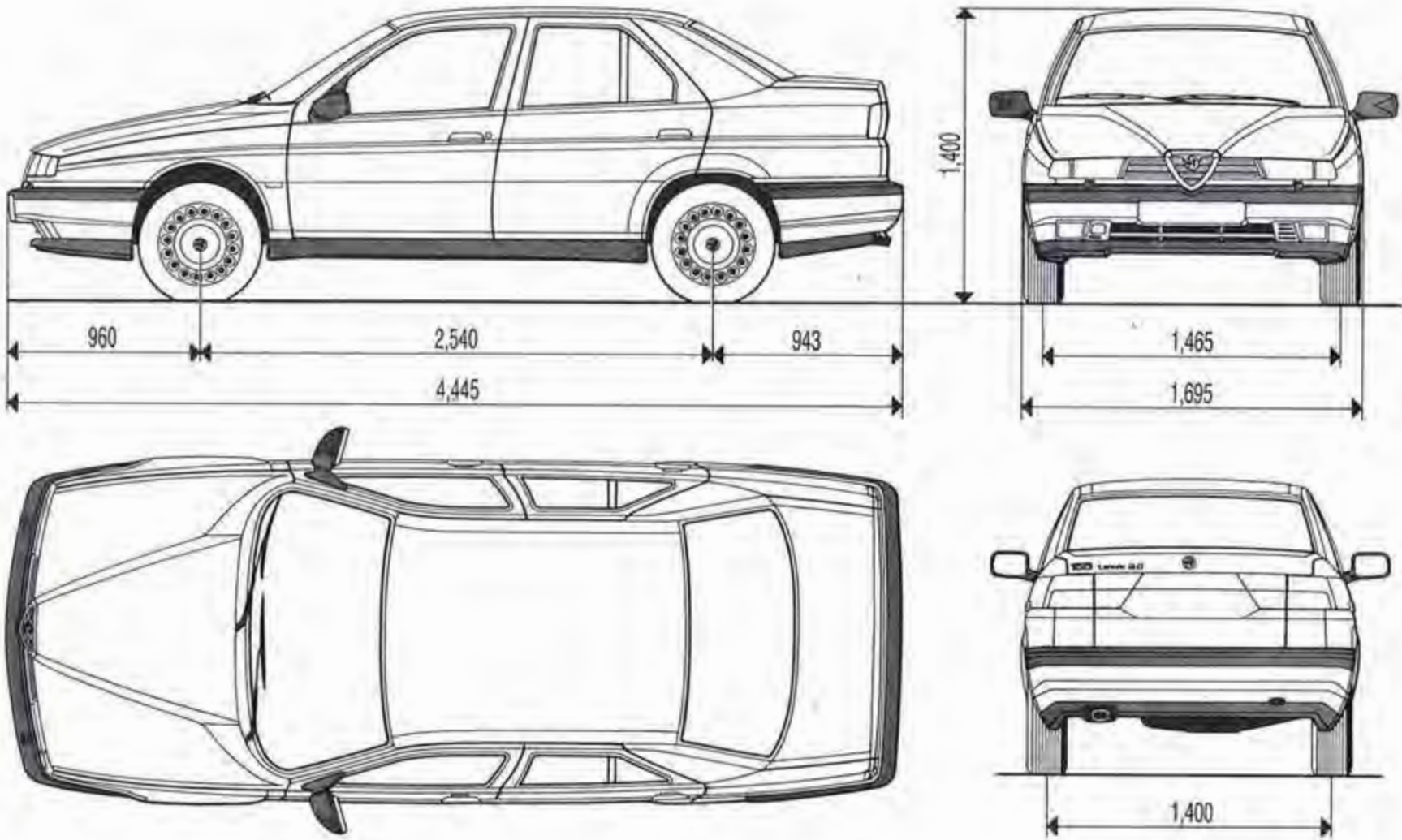
動力伝達装置			
クラッチ形式			乾燥単板ダイヤフラム式
変速機操作方式			フロアチェンジ式5速マニュアル
変速比	1速		3.545
	2速		2.267
	3速		1.542
	4速		1.156
	5速		0.943
	後退		3.909
最終減速比			3.350

操縦装置			
ステアリング形式			ラック & ピニオン式パワーステアリング
懸架装置・タイヤ			
サスペンション(前/後)			マクファーソン式独立懸架/トレーリングアーム式独立懸架
タイヤ			195/60 VR14
ホイール			6J×14アロイ
制動装置			
主ブレーキ形式(前/後)			ベンチレーテッド・ディスク/ディスク

MAJOR EQUIPMENT

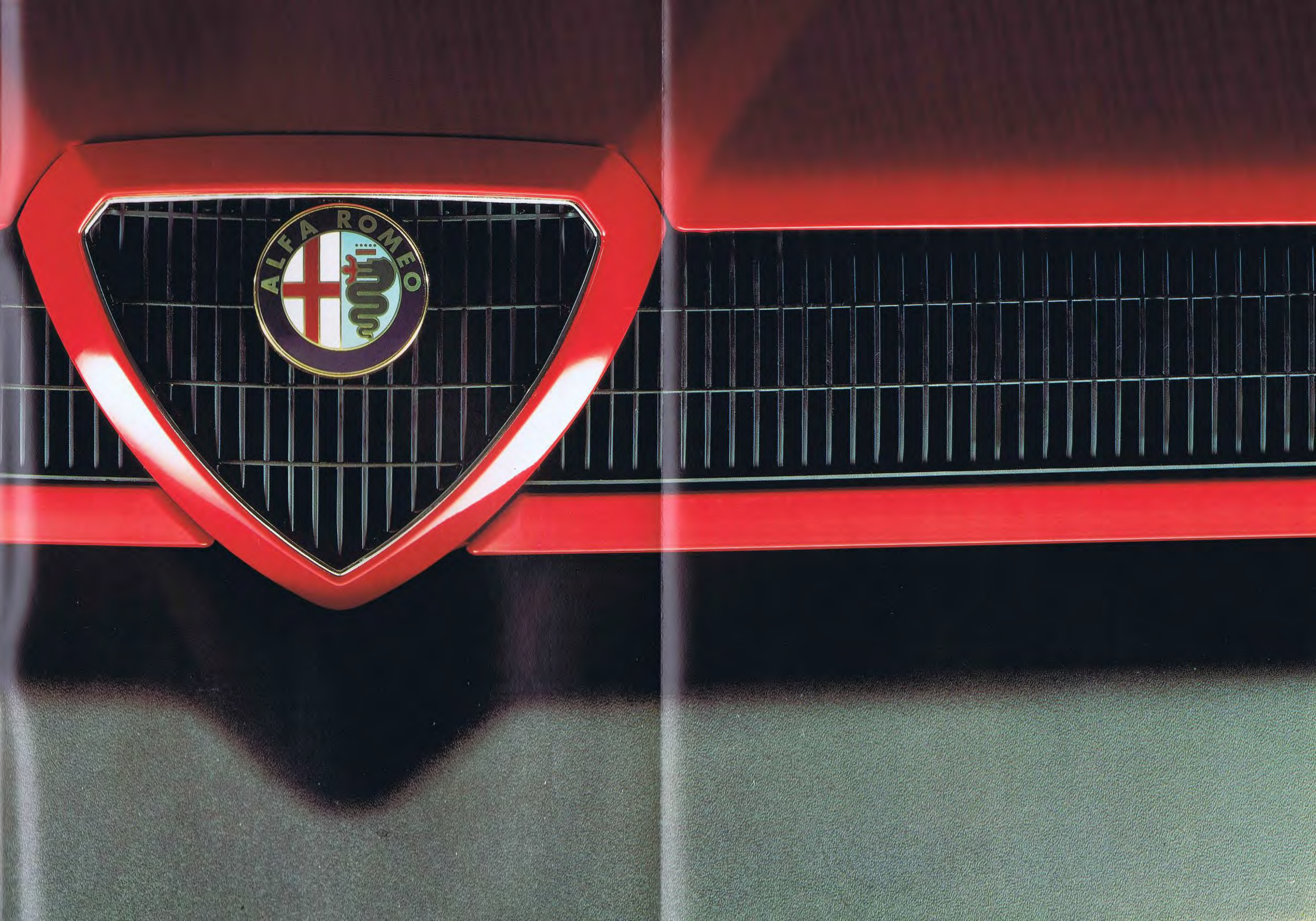
エクステリア		
ハロゲンヘッドライト		●
ティンテッドガラス		●
デミスト機能付き電動ドアミラー		●
パワーウインドー		●
フロント・フォグライト		●
リヤ・フォグライト		●
電動サンルーフ		▲
メタリック・ペイント		▲
ヘッドライトウォッシャー		●
インテリア		
オートマチック・エアコンディショナー		●
アジャスタブルシートベルト		●
パワーステアリング		●
集中ドアロック		●
チェックパネル		●
電子チューナー付きカセットデッキ		●
タコメーター		●
油圧計		●
水温計		●
グローブボックス		●

● = 標準装備 ▲ = オプション
写真はヨーロッパ仕様のため、日本仕様車とは一部異なります。また、表記された諸元・仕様ならびに装備は改良のため予告なく変更される場合があります。





Alfa Romeo 





twin
spark
2.0

155

魂を揺さぶるドライビング・エクスタシー。 誰も模倣できない、魅惑的な走りの世界へ。

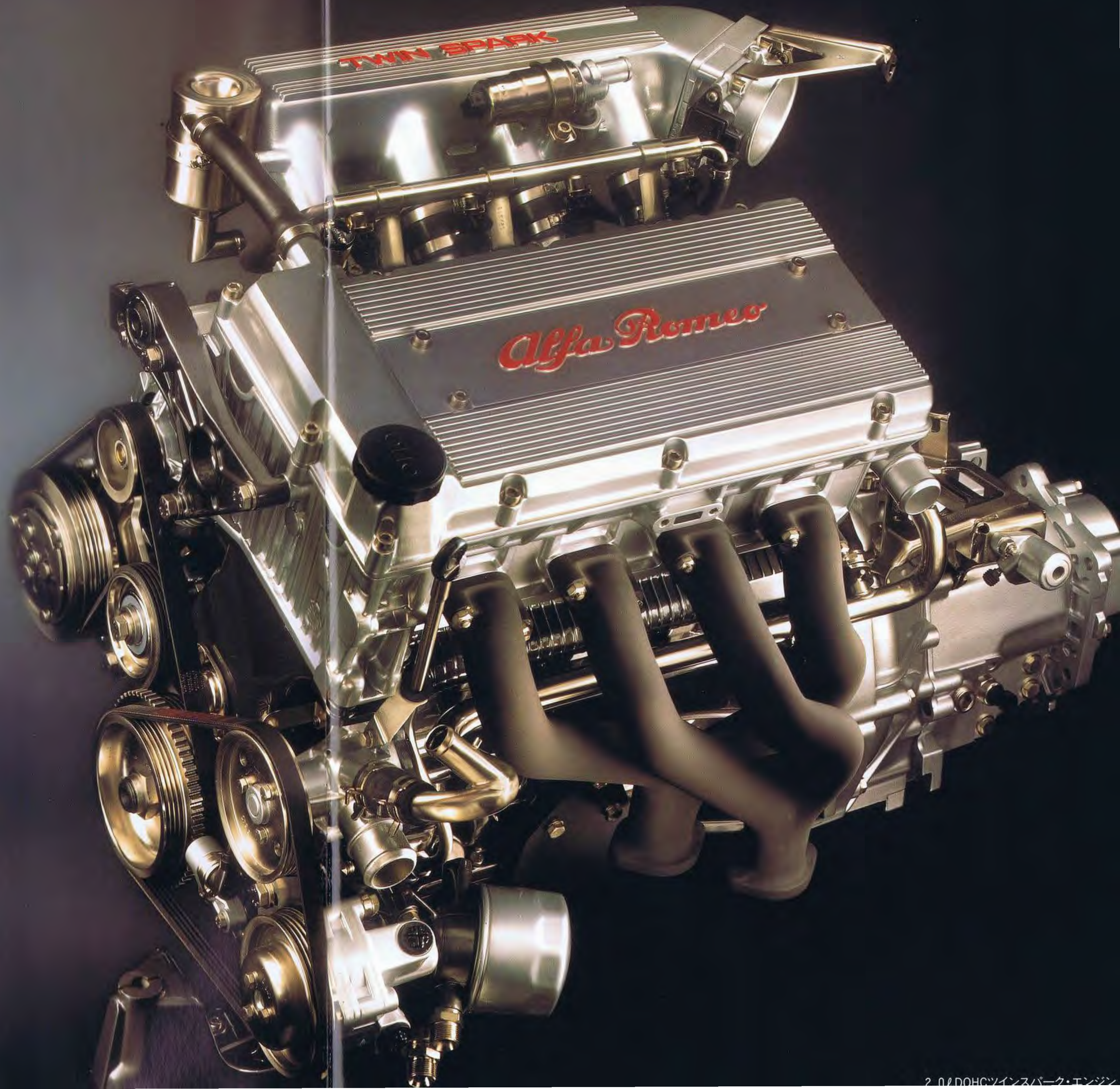
走るために生まれてきた、美しく引き締まった肢体。スロットルを踏み込むほどに高鳴る、陶酔のエンジン・サウンド。ドライバーの予知を遙かに超えて生み出される、強烈なパフォーマンス。コーナーを鮮やかに駆け抜ける、剽悍な運動神経。アルファ155シリーズには誰も模倣できない、感性を刺激するアグレッシブなドライビングの歓びが息づいています。その底流にあるのは、決して他に媚びることなく、己のみが信じる道を行く孤高の精神。そこにはイタリア生まれのサラブレッドならではの熱い闘争本能も渾然となって存在します。誰もが羨望するアルファ ロメオの扉を開く新世代スポーツ・セダン、アルファ155ツインスパーク。伝統の盾型グリルに代表されるプレステージ性はそのままに、アルファ ロメオの世界に通じる道を大きく広げました。ステアリングを握った瞬間から、サーキットの感動と興奮をダイレクトに伝える高性能スポーツマシン、アルファ155Q4。走りを徹底追求した高密度メカニズムを採用し、純正レカロシートとリヤスポイラーを装備するなど、DTMレーシングマシンに最も近いモデルに仕上げられています。155シリーズは安全性にも十分に配慮し、いずれも4輪ABSおよびエアバッグを標準装備しています。



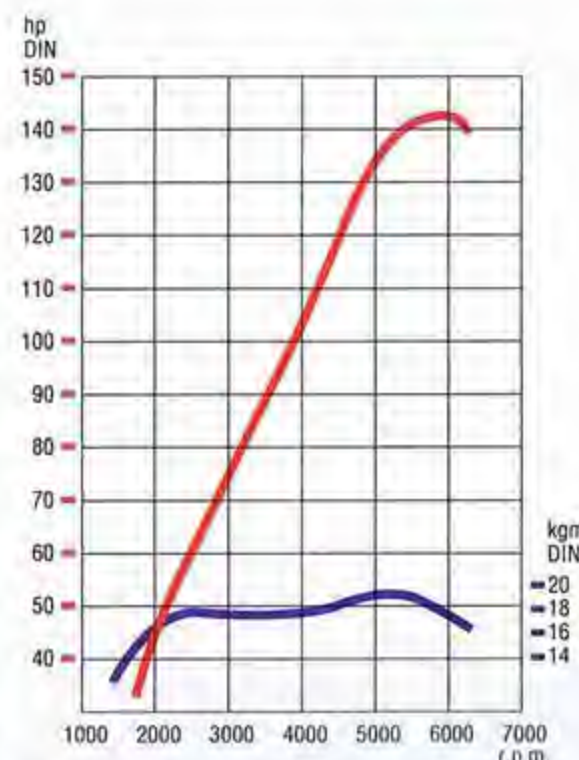


ドライビング・スピリットを挑発する、 独自のテイストを持つ 2基の高性能エンジン。

気品と優雅さが溶け合い、強い印象を与えるウェッジシェイプのボディ。そのしなやかで迫力ある肢体は、獲物を狙って低く構えた野生動物のような鋭敏さを漂わせています。アルファ155シリーズは楔形のボディ、空気抵抗を低減する滑らかなボンネットとフロントガラス、ハイデッキ・テールなど、最新のエアロダイナミクス設計を特長としています。優美さとスポーティさという一見相反する要素を、見事に両立させることに成功した、イタリアならではの大胆な造形力。155シリーズの明確なアイデンティティは、スタイリングにも見ることができます。そして、イタリアの熱く赤い血が脈打つ精悍なボディの中には、ドライビング・スピリットを挑発する高性能エンジンが収められています。アルファ155 ツインスパークは、このクラスとカテゴリーにおいて最高レベルのパワーを発揮する、独創的な直列4気筒2.0ℓ DOHC ツインスパーク・エンジンを搭載。アルファ155Q4は低回転域からの圧倒的なトルクをもたらす、最新の直列4気筒2.0ℓ DOHC I6バルブ・インタークーラーターボ・エンジンを搭載。スペックは異なっても、いずれのパワーユニットにも共通するのは、アルファ・ロメオ独自の感性を刺激するサウンドとテイストです。ドライバーがスロットルを深く踏み込んだ瞬間、それまで軽快なハミングを続けていたエンジンは、胸のすく吹け上がりと共に、カム、吸気のうなり、排気音がひとつに融合した歓喜のシンフォニーを奏でます。魅惑的なアルファ・サウンドが室内を満たし、周囲の風景がハイスピードで後方に流れ去る時、ドライバーは車と一体となる快感に包まれます。



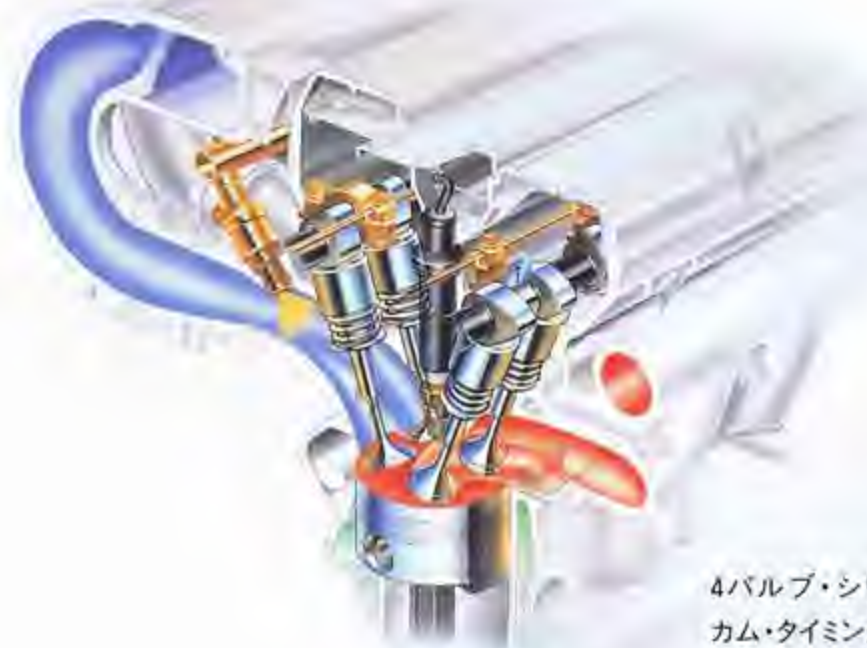
走りを追求した高密度メカニズムが生み出す、 比類なきエンジン・パフォーマンス。



直列4気筒2.0 DOHCツインスパーク・エンジンの性能曲線およびトルク曲線。

アルファ155ツインスパークが搭載する直列4気筒2.0 DOHCツインスパーク・エンジンは、アルファロメオが特許を持つフェーズ・バリエーターを装着したダブル・オーバー・ヘッドカムシャフトによって、低回転域から強大なトルクを生み出します。「ツインスパーク」とは二重点火を意味し、各シリンダーに2個のプラグを使用して、異なったポイントで2つのスパークを同時に発生させ、エンジン効率と性能を飛躍的に向上させます。このシステムは排ガスの低減にも役立ち、3元触媒コンバーターの働きも相まって、環境に優しいエンジンに仕上げられています。

エンジン制御には最新のボッシュ製モトロンIC M1.7エンジン・マネージメント・システムを採用し、燃

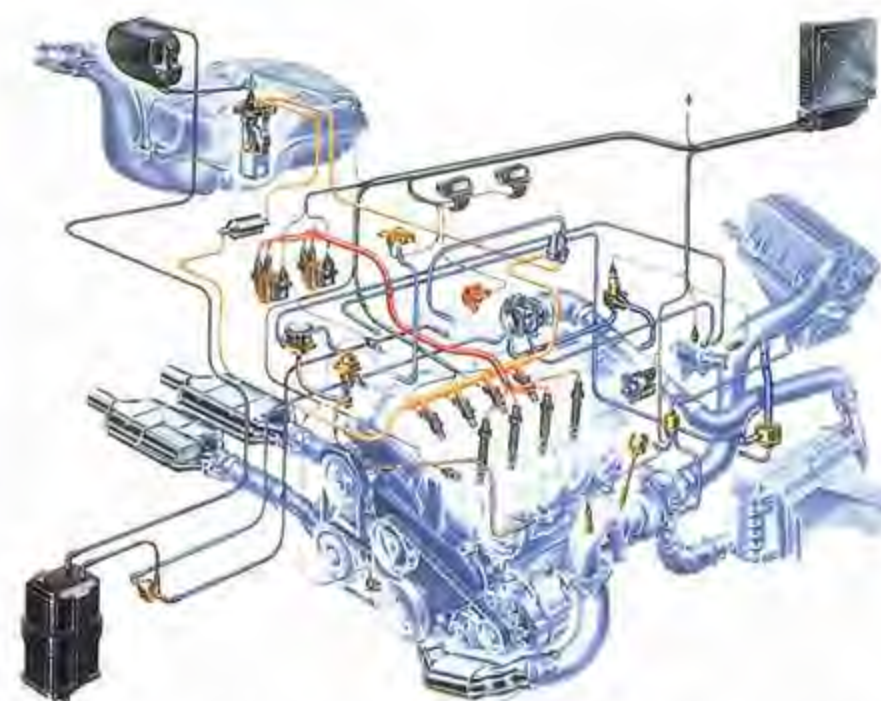


4バルブ・シリンダー、ツイン・オーバーヘッド・カム・タイミング・システム。

料供給と点火の精度を高めています。この先進的なエレクトロニクス・システムは自己診断および自己修正機能を持っており、極めて精密にエンジン制御を行います。また、このエンジンは最高出力140ps/6,000rpm(DIN)、最大トルク19.3kgm/5,000rpm(DIN)という抜群の性能を発揮するだけでなく、優れた燃費も実現しています。その秘密はスムーズな燃料供給とトルクあふれるエンジン特性にあり、これはドライビングの喜びを高める役割も果たしています。

アルファ155Q4の直列4気筒2.0 DOHC16バルブ・インタークーラーターボ・エンジンは高性能だけでなく、コンパクト化も実現しており、エアロダイナミクス性能に優れた155シリーズのボディに余裕を持って収められています。ツインカム・4バルブ・シリンダー・ヘッドは、燃料の不完全燃焼を防ぎ、エンジン・パフォーマンスを飛躍的に増大させます。また、4バルブ・シリンダー・ヘッドは、小型化が難しく慣性モーメントが大きい2バルブ・シリンダー・ヘッドに比べ、高いエンジン回転数を容易に得ることができます。

このエンジンはシングル・ターボ・ユニットを持つターボ・チャージャー・システムによって、最高出力185ps/6,000rpm(DIN)、最大トルク30.3kgm/2,500rpm(DIN)というパフォーマンスを発生します。シンプルな構造と最高レベルの性能を追求して生まれたシステムだと言えるでしょう。ギャレットT3ターボ・チャージャーはエンジンのテクノロジー・レベルを限界まで高め、慣性モーメントを効果的に抑えながら、あらゆる速度域において俊敏なアクセル・レスポンスをもたらします。ウェスト・ゲート・バルブは過給圧を制御し、パワーを調節することで、エンジンの信頼性をよりいっそう向上させます。過給圧の効率率はデジタル・コントロールによって



燃料供給および点火を制御するI.A.W.エレクトロニック・システム。

最大限まで高められます。また、最新のターボ・エンジンに不可欠のコンポーネンツであるインタークーラーも採用。インタークーラーは冷却したエアをシリンダーに送り、充填効率を高め、エンジン・パワーを増大させると共に、エンジン自体の信頼性も向上させます。ターボ・システムは強力なパワーとトルクだけでなく、振動を抑える2基のカウンター・ローテティング・バランサー・シャフトと共に、優れた静粛性も生み出します。エンジンのコントロール部分には、ウェバー・マレリI.A.W.エレクトロニクス・システムによって制御されるマルチポイント・インジェクションおよび



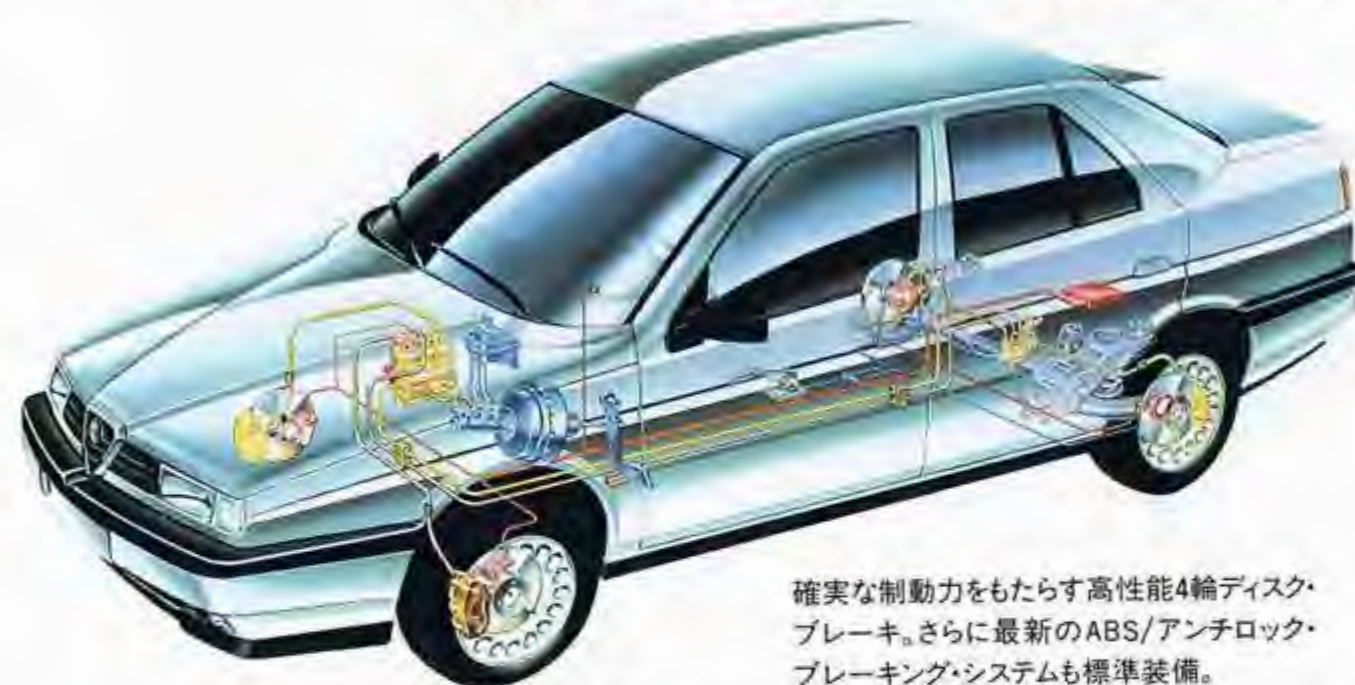
直列4気筒2.0 DOHC16バルブ・インタークーラーターボ・エンジンの性能曲線およびトルク曲線。

ソリッド・ステート・イグニッションが使用されています。コンピュータ制御によって、燃料は完全に燃焼して、最大のパワーを生み出します。さらに、点火、過給圧、そしてノッキングなどが、常にマイクロコンピュータによってコントロールされています。潤滑システムは高度なパフォーマンスを生み出すことを目的として設計されています。ピストンはオイルのジェット流で冷却され、エンジンが長時間に渡って高速回転する場合には、別のオイル・ラジエーターで冷却されます。さらに、環境保全のためのテクノロジーも導入。たとえば、排気システムにはラムダ・センサー付きの1基のプリカタライザーと、2基の3元触媒コンバーターが装着されており、排ガスの中の公害成分を効果的に抑制することができます。この最新のエンジンは洗練されたテクノロジー、高度なパワー、優れた信頼性など数多くの要素を統合し、アルファ・ロメオならではのドライビングの喜びをもたらします。



ドライバーの意志に鋭く応える、 精密かつ強靱なサスペンション・システム。

アルファ155ツインスパークは優れたロードホールディング、レスポンスの良いブレーキ、正確なステアリング、安定した挙動などによって、高度なアクティブ・セーフティ(能動的安全性)を生み出します。サスペンションは4輪独立懸架で、フロントにはマクファーソンストラット式、リアにはトレーリングアーム式を採用。スタビライザーも標準装備しており、コーナリング時のロードホールディングを向



確実な制動力をもたらす高性能4輪ディスク・ブレーキ。さらに最新のABS/アンチロック・ブレーキング・システムも標準装備。

上させ、車体のロールを効果的に抑制します。路面に吸い付くような揺るぎない高速安定性、わずかに車体を沈み込ませながらコーナーを駆け抜ける俊敏な運動能力。ドライバーは鍛え抜かれたサラブレッドのような走りを堪能することができます。ステアリングはサブフレームに組み込まれた油圧アシスト付きラック&ピニオンを採用しており、不要な動きを中和し、路面からのレスポンスを確実に得ることができます。ドライバーがステアリングを切り込む角度に合わせて、車は正確にノーズの向きを変え、コーナーを鮮やかに縫っていきます。トランスミッションはハイトルクを伝達するために、強化された高性能5速マニュアルを採用。ドライバーはシフトレバーを自在に操って、車を意のままに走らせることができます。シンクロナイズされた5速トランスミッションは最適なギア比を与えられて

おり、精密なギアの噛み合い、優れた静粛性などを特長としています。もちろん、5速ギアの使用時にも、アルファ ロメオならではのパワーあふれる走りをもたらします。

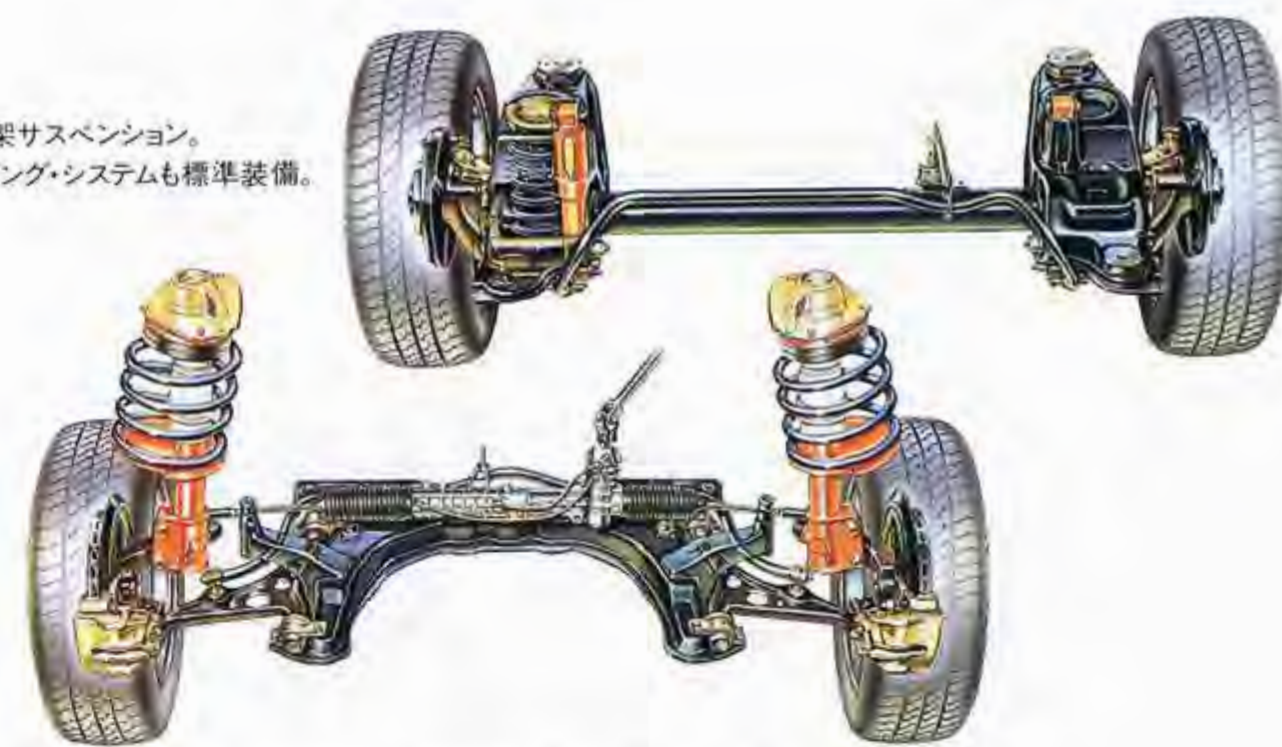
ブレーキ・システムは信頼性が高く、確実な制動力をもたらす4輪ディスク・ブレーキを採用。ブレーキパッドもフェードの心配のない高性能タイプを使用しています。ドライバーは軽い踏力で車のスピードを確実に落すことができます。さらに、4輪を独立して制御する最新のABS/アンチロック・ブレーキング・システムも標準装備。これは急制動時に車輪のロックを防ぎ、車の横滑りなどを防止するシステムです。車の操縦性も確保できるため、ドライバーは急制動時にもハンドル操作によって危険を未然に回避することができます。このような優れたブレーキ・システムによって、ドライバーは安全性に裏付けされた、ダイナミックなドライビングの歓びを味わうことができます。

アルファ155Q4はエンジンの卓越した性能に合わせて、優れた操縦性能と安全性をもたらすメカニカル・コンポーネンツを採用しています。また、先進的な開発プロジェクトを通じて、アルファ ロメオならではの高い品質、優れたロードホールディング、確実な制動力、直進安定性、そして滑らかなギアチェンジを実現。なかでも、最新のエンジニアリングから生まれたフルタイム4WDシステムは、高性能エンジンが生み出す強烈なパワーを活かす理想的な装備となっています。パワーは確実に路面に伝えられ、どのような状況であっても優れた安全性をもたらす、抜群のロードホールディングを実現します。

強化された5速マニュアル・トランスミッションを装備。



スポーティな走りを生み出す4輪独立懸架サスペンション。
アルファ155Q4は電子制御式可変ダンピング・システムも標準装備。



し、サスペンションをハードまたはソフトに自動的に設定し、常に快適な走りをもたらします。「スポーツ」モードはダンパーの減衰力をハードに固定することによって、よりスポーティでアグレッシブな走りを可能にします。

ブレーキ・システムもこの車の傑出したパフォーマンスに対応するよう設計されています。フロントにはベンチレーテッド・ディスク、リアにはディスクを採用。いずれも大径のサイズを採用し、長時間に渡る連続使用にも耐えうる性能を備えています。また、このブレーキ・システム自体は安全性を考慮して、X型配置のデュアル油圧回路になっています。また、パワフルなブレーキ・キャリパー、ダブル・サーボ・ブレーキも制動力の向上に貢献しています。これによって、ドライバーはブレーキ・ペダルを軽く踏むだけで、確実な制動力が得ることができるのです。もちろん、アルファ155ツインスパークと同じく、4輪ABSも標準装備しています。



ビスカス・カップリングによるトルク配分は、路面状況が前後で異なる場合に効果を発揮します。



トルセン・デファレンシャルはリアホイールにかかる負荷によって、最適なトルク配分を行い、確実なグリップと高いスポーツ走行性能をもたらします。

駆動力配分は状況に応じて自動的に調節されますが、通常はフロント47%、リア53%に設定されています。前後配分を変えるのはセンターデフに組み込まれたビスカス・カップリングで、駆動力を最適なバランスで配分します。このビスカス・カップリングの主要なエレメントは、装置の内部に組み込まれている複数のソリッド・ディスクと高粘度の液体であり、前後の回転差に応じて相互のスリップを制限します。つまり、前後のいずれかが空転すると、ビスカス・カップリングの働きでセンターデフの差動を制限して、路面をグリップしている車輪に駆動力を伝達するわけです。フロントデフは効率的に左右輪の回転差を吸収し、リアデフにはトルセン・デファレンシャルを採用。トルセン・デファレンシャルとはウォームギアを使った差動トルク感応型の差動制限装置であり、リアの左右輪の駆動トルク差に感応し、優れた高速コーナリング性能をもたらします。

このフルタイム4WDシステムは精度の高いメカニズムによって構築されており、車に素晴らしくダイナミックな走行性能を与えています。ハイドロリック・サーボ・メカニズムを備えたステアリングは、確実なレスポンスを発揮し、優れた操縦性能と安全性を実現しています。高度な動力性能に対応するよう設計された4輪独立懸架サスペンションは、あらゆる状況で信頼性に優れたトータル・パフォーマンスを発揮します。さらに、最適に調整されたスプリング、ダンパー、アンチロールバーが一体となって、力強い走り、極めて安定したロードホールディングを提供します。

アルファ155Q4は電子制御式可変ダンピング・システムも標準装備しており、ドライバーは「オート」と「スポーツ」のモードを選ぶことができます。「オート」モードは電子制御装置が走行速度、路面状況、ドライバーの操作による挙動変化を感じ知

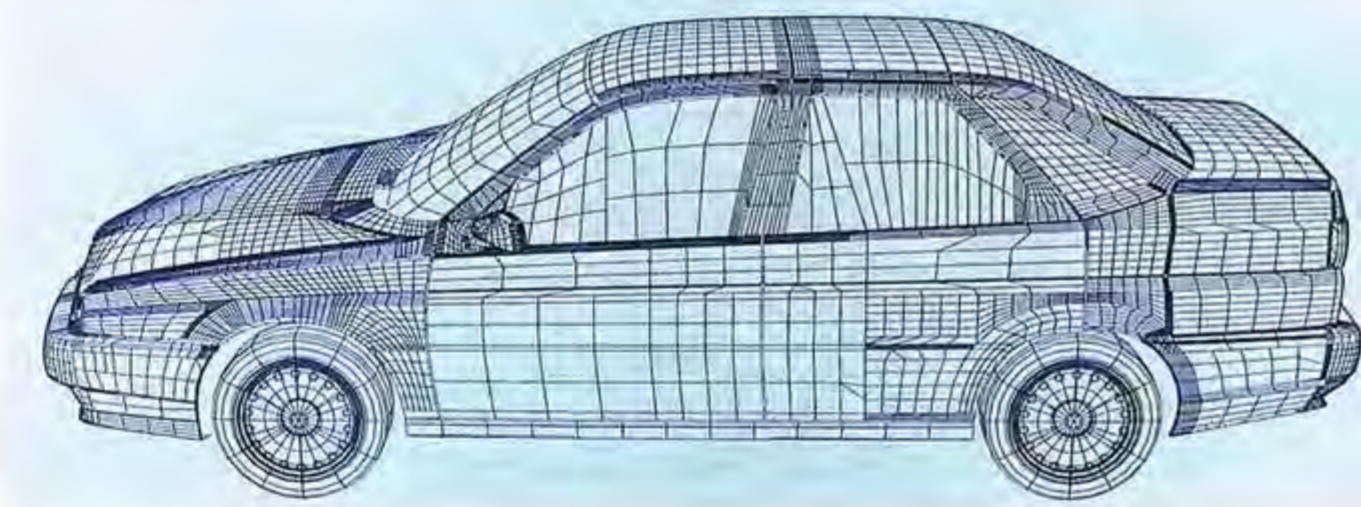
先鋭的なウェッジシェイプのボディに、 高度な設計コンセプトを余すことなく投入。



アルファ155シリーズの洗練されたウェッジシェイプのラインは、徹底的な風洞実験と、細部に渡る入念な設計から生まれました。これにより、優れたエアロダイナミクス特性と、個性あふれる表情を実現しています。盾型のラジエーターグリルに見られるアルファ ロメオの伝統的なモチーフは、照射能力に優れた最新のポリエリプティカル・ヘッドライトの採用によって、いっそう現代的なデザイン要素が加味されています。ウェッジシェイプ・ラインは、高速走行時にボディを路面にしっかり抑え、優れたロードホールディングを生み出します。また、あらゆる方向の良好な視野と、抜群の運転特性をもたらします。さらに、美しい曲面を持った広いフロントウィンドーと、先端が絞り込まれ、流れるようなバルジを設けたボンネットによって、空力特性と前方視界を一段と高めています。車のウェッジシェイプ・ラインはサイドのリブによってさらに強調されます。また、ボディのサイド部は車のスタイリングとエアロダイナミクス性能を向上させると共に、ホイール・アーチの優れたデザインとも相まって、ボディ下部の空気の流れを整えます。リヤピラーとウエスト・ラインは素晴らしい調和を見せ、ハイデッキ・テールによって全体のウェッ

ジシェイプ・ラインは見事に完結しています。さらに、155Q4はリヤスポイラーを標準装備し、精悍さあふれる表情を作り上げています。サーキットの熱い息吹をダイレクトに伝える装備が、強烈な走りの美学を感じさせてくれます。走行安定性を高めるリヤスポイラーは性能、耐久性の面はもちろん、デザイン的にも純正品ならではの仕上がりになっており、155Q4のスタイルをいっそう引き締めることに成功しました。アルファ155シリーズは品質の面でも新たな基準を設定しています。これは図面作成から生産まですべての段階を統括したプロジェクトの中から生まれました。さらに向上したトータル・クオリティおよび信頼性は、高度な機能や安全性、そして高いリセール・バリューも実現します。アルファ ロメオはこの車の開発にあたって、当初からオールラウンドな品質の高さを追求し、最先端コンピュータを積極的に活用しながら基本的な設計を行いました。その際、スタイリング、安全性、乗り心地、エアロダイナミクス、運転特性、信頼性まで、すべての要素が総合的に分析され、あらゆる相互作用が検討されましたが、その正確さをピンポイントまで高めたのはCAD/CAMなどのコンピュータ設計システムでした。このコンピュータはどのボディ・パーツが最も金属疲労を起こしやすいか、どこに最も柔軟

な鋼板を使用すべきかなどの計算も行います。なぜなら、強く軽量で、弾力性に富んだボディを持つ車こそが、最もパワフルな車となるからです。設計段階では革新的なプログラムも採用されました。これは予想分析テクノロジーというべきものであり、将来発生する可能性がある問題点を発見し、事前に解決するというものです。完全性の追求はこれだけではありません。155プロジェクトは実験室におけるシミュレーションテストと、路上での走行テストを組み合わせながら、完全性を追求していきました。走行実験は過酷な気象条件を持つ各国のドライバーが担当し、複雑なプログラムを完全に遂行することで、大きな成果を上げました。車の本格的な生産に入る前には、パイロット工場でテストモデルが組み立てられました。これは、技術の信頼性を事前にシミュレートするためのものです。また、生産ラインに導入した最新のロボットは、自動化されていない従来の生産工程で起こりうるミスを排除し、当初のデザインを最終プロダクトに誤差なく反映することに成功しました。トータルな品質を追求するためには、素材の各パーツの選択も重要になります。アルファ ロメオはこれに関しても完璧を追求し、その成果は優れた機能性と統一されたスタイルを実現した内装トリムなどに見ることができます。



車体のスチール部品のサイズ・チェックや、溶接部門での組み立てモニターは、精密なレーザー装置で行われます。この工程管理はフロントパネル、サスペンション、電気リカル・システムなどサブグループの生産過程でも実施されます。もちろん、生産ラインでもミスがないかどうかの最終チェックが行われます。車は生産ラインの最後で、さらにもう一度チェックを受けます。それはエンジン出力、エミッション・レベル、サスペンション、ブレーキ・システム、防水などにおよびますが、これらは最もデリケートな機能を制御するために必要なものです。また、防錆対策も完璧になされています。たとえば、ボディシェルにシートメタルを採用した場合には、それが耐久性に優れた素材であっても、常に外気にさらされることを考慮し、腐食防止のための亜鉛メッキが必要最大限に渡って施されました。精密なコンピュータ分析、実験室でのシミュレーションテスト、革新的な生産テクノロジー、そしてシステムチックな制御とテストによって、アルファ155シリーズには高度な品質と信頼性が与えられたのです。



各コンポーネントは車に装着される前のサブアセンブリーで、厳格な生産工程チェックを受けます。



スポーツ・スピリットが 香り立つ、機能美に あふれたコックピット。

アルファ155シリーズのフロントパネルとインストルメントパネルは、デザイン、素材、配置のすべてに、最新の人間工学の研究成果が注がれています。使用している素材はソフトで格調高く、しかも耐久性に優れています。フロントパネルは安全性を考慮して、すべてが防眩処理されています。室内設計はドライバーが最もくつろげ、あらゆる条件下で確実な運転ができるよう配慮されています。インストルメントパネルはアルファ ロメオ独自のスポーティなドーム型を採用しており、スピードメーター、レブカウンター、油圧計、水温計、燃料計、そして油温計が整然と配されています。アナログ式の計器類はアルファ ロメオのスポーティな伝統を継承し、ドライビングに必要なすべての情報をドライバーに伝えます。

アルファ ロメオ独自のチェックパネルは、エンジンとメカニズムに関して異常が起こると、その情報を知らせます。ギアシフトやペダルなどの基本的なコントロール装置は、快適な高速走行と安全性を実現するために、合理的なポジションに配置されています。ステアリングコラムの両サイドにある2本のレバーには、ライト、ワイパー、ウインターのスイッチが機能的に取り付けられています。このため、ドライバーはステアリングから手を離すことなく、運転に集中しながら、すべてのコントロール装置を確実に操作することができます。



確実なサポート力を発揮し、 長時間ドライブでも疲れにくい高性能シート。

アルファ155シリーズは、その印象的な外観にふさわしく、スタイリッシュなインテリア空間を創造しています。そこにはエレガンスとスポーティ、ラグジュアリーと人間工学が渾然一体となって息づいています。また、厳選された素材、洗練された色調、高級感を追求した仕上げなども、インテリアの品位を高める重要なポイントになっています。アルファ155 ツインスパークは人間工学の研究成果を活かして開発し

た、モケット素材で深みのあるバケット・タイプのパワーシート(ヒーター機能付き)を採用。キメ細かな調節装置によって、ドライバーは自分に合った最適なドライビング・ポジションを得ることができます。アルファ155 Q 4はスポーティな走りを追求した純正レカロシートを標準装備。モータースポーツの世界で欠かせないアイテムとなっているレカロシート。ドライバーを確実に保持する優

れたホールド性、長時間ドライブでも疲れを感じさせない人間工学設計を特長とし、スポーティなデザインも高く評価されています。ドアを開けて乗り込み、ステアリングを握った瞬間から、サーキットの感動と興奮をダイレクトに感じていただけます。



ドライバーが心からリラックスでき、 運転に集中できるインテリア空間。

アルファ155シリーズの優れたデザイン性は、その洗練された内装にも見ることができます。細部におよぶ入念な設計によって、高度なクオリティと多用途と実現。各種装備のデザインの良さは、まさにイタリアン・エレガンスそのものです。フロントパネルは防眩処理が施されており、スタイリッシュなデザインと安全性を同時に実現しています。あらゆる装置や計器は人間工学に基づき、最適な設計とポジションを与えられており、ドライバーが誤操作する可能性を排除しています。エアバッグを装着したスポーティな革巻きステアリングホイールは、角度および高さの調節が可能なチルト・ステアリングとなっています。さらに、シフトノブも贅沢な本革巻き仕上がりになっています。

また、最高レベルの機能性を獲得するために、人と機械の関係を追求した人間工学の研究成果も十二分に活用されました。細部へのこだわりは



ドアパネルにも見ることができます。シートおよび他のインテリアと見事に調和しながら、高級感とくつろぎに満ちた居住空間を作り上げています。このスポーティでエレガントなインテリア空間は、数多くの実用的な装備も配されています。たとえば、多くの小物入れやダッシュポケットは、収納を高めるために役立っています。

パッセンジャー・コンパートメントは静粛性に優れており、高速走行時でもノイズは低く抑えられます。室内は実に広く、各種の機能的な装備によってドライビングの楽しさや快適性はさらに高められます。スイッチを入れるだけで、室内を素早く快適温度に設定する高性能オートマチック・エアコンディショナーはその一例です。アルファ155シリーズの卓越性は偶然からではなく、すべてが計算された設計から生まれたものです。

これまで、自動車の安全性はアクティブ・セーフティ(能動的安全性)とパッシブ・セーフティ(受動的安全性)という2つの要素で考えられてきました。万一の衝突や転倒の際に、バンパー、ボディ、サイドビーム、シートベルト、エアバッグなどで、ドライバーと乗員を保護する受動的安全性。優れた

操縦性能、俊敏な加速性能、確実な制動性能によって、危険を未然に回避する能動的安全性。アルファ ロメオでは、これにプリベンティブ・セーフティ(予防的安全性)を加え、トライアングルのセーフティ・コンセプトを構成しています。予防的安全性はドライバーのストレスを取り除き、リラックスさせ、運転に集中できる環境を作り出すことで生まれます。そのためには快適で居心地の良い車内、使い勝手の良いスイッチや装置類、人間工学的に設計された疲れにくいシート、適切な照明、快適な空調設備が必要になります。運転しやすく気持ちの良い環境を持った車は、ドライバーの判断を正確にし、絶えず変化する道路状況に対応させることができます。これは“人間を尊重する”独自の思想から生まれたものです。つまり、運転の主役は車ではなく、あくまでもドライバーなのです。

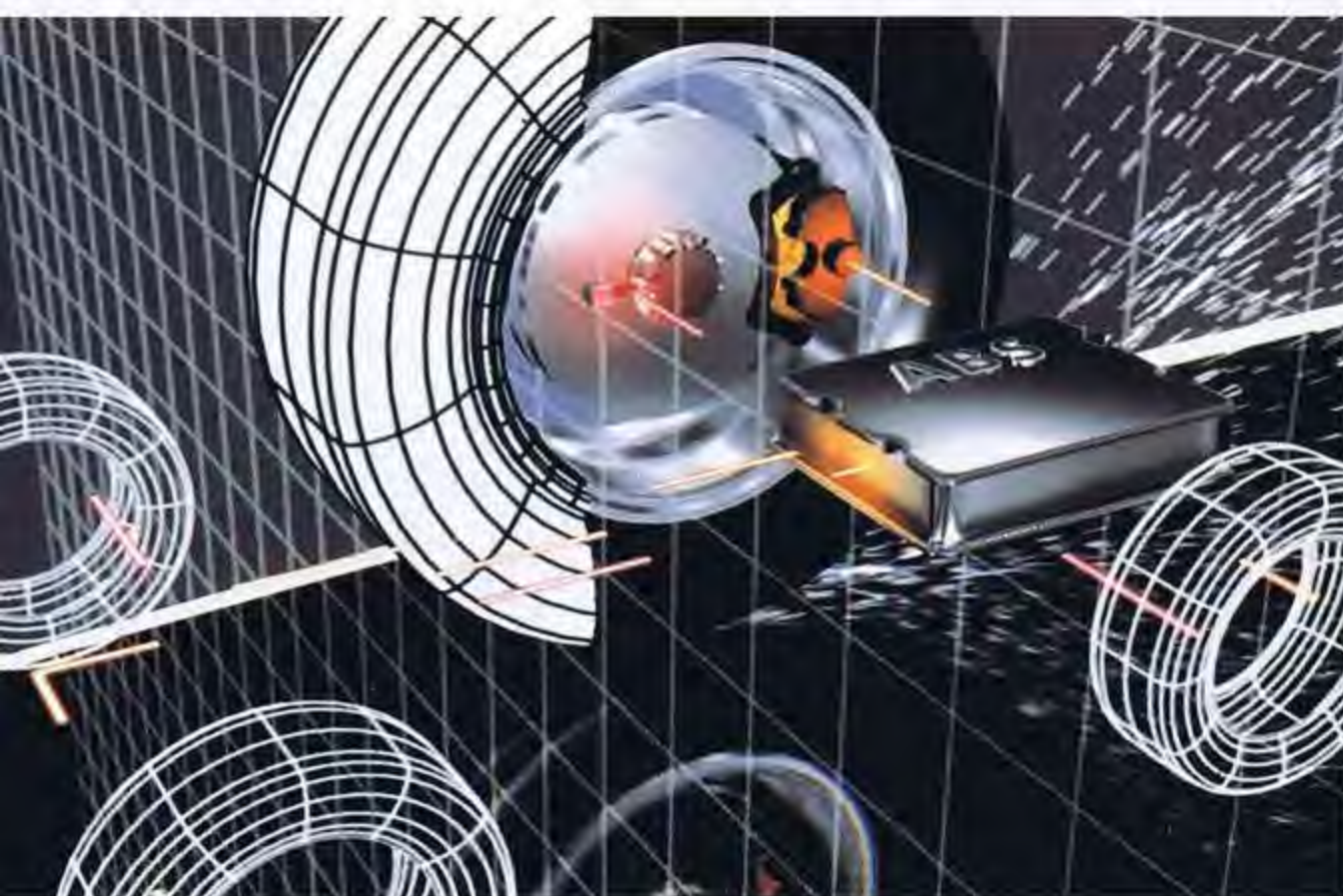


ALFA 155 Q4

最新のABSやエアバッグを標準装備し、 高度なトータル・セーフティを実現。



アルファ155シリーズは危険を未然に回避するアクティブ・セーフティと、万一の際にドライバーと乗員を保護するパッシブ・セーフティを最高レベルで統合しています。まず、アクティブ・セーフティを向上させるために、4輪ABS/アンチロック・ブレーキング・システムを標準装備。このシステムは状態が悪く、滑りやすい路面において、自動的にホイール・ロックを防ぎます。つまり、緊急の際にパニック・ブレーキを踏んでも、ホイールがロックすることなく、ドライバーは車を確実に操作して危険を回避することができるのです。この最新ABSは、6基のセンサーと



標準装備の最新型ABS/アンチロック・ブレーキング・システム。

4基のアクチュエーター・ソレノイドを備えており、個々のホイールを独立して制御します。さらに、アルファ155 Q 4の場合は、フルタイム4WDシステムの特性と相まって、安全性をいっそう向上させています。ABSのコントロール・ユニットは、燃料供給および点火を行うエレクトロニクス・システムと連結しており、トータルに制御されます。しかし、いかにABSなどで車の制動性能を高めようと、最終的にブレーキを踏むのはドライバー自身です。つまり、ドライバー自身の意志こそが、真のドライビング・プレジャーをもたらすと、アルファ・ロメオは考えています。次にパッシブ・セーフティに関しては、インテリア全体に一切の鋭角的な部分を取り除いたデザインを採用。必要な部分には十分なパッドやトリムを



多くの補強材を効果的に使用し、優れた剛性を実現したボディ。

施しています。155シリーズの室内にはスポーティな機能美だけでなく、高度な安全コンセプトが息づいています。ボディ自体には、綿密なコンピュータ解析の結果に基づいて、高張力鋼板を効果的に使用し、車全体の剛性を高めています。その強度は様々なクラッシュ・テストによって実証されています。ドア内部にも剛性の高い補強材(サイド・ドアビーム)を配し、強固なセーフティゾーンを創造。独自の形状をもつ補強材は、コンピュータによるシミュレーションテストと、実際の衝突実験の結果から生まれたものです。この装備によって、横方向からの衝突に対する強度がいっそう高められました。



万一の衝突の際には、ボディが計算通りに変形して、衝撃を効果的に吸収します。さらに、人間工学に基づいて設計されたシートと、どのような体格の方にもジャストフィットする高さ調節機能付き3点式シートベルトが、ドライバーとパッセンジャーを確実にホールドします。また、燃料タンクも独自の安全設計に基づき、追突の際にも燃料が漏れることがないように設計されています。

さらに、安全性の向上に欠かせないエアバッグも標準装備。万一の衝突の際に、ドライバーの頭部や胸部がステアリング・ホイールやフロントウィンドーにぶつかるのを防ぎます。この最新のエアバッグは現在世界で最も厳しいアメリカの安全基準法に合わせて開発されたものであり、正面衝突だけでなく、車の中心線から左右30°までの衝撃を感知することができます。万一の際、エンジンルームに設置された2つの精密なセンサーが一定以上の衝撃を感知すると、ステアリング・ホイールに収められたエアバッグがわずか200分の1秒で膨らみ、ドライバーを確実に保護します。



人間並みの知覚を備えたダミー人形を使って開発された、最新のエアバッグ。

ALFA 155 Twin Spark

パフォーマンスと快適さが調和したメカニズムの結晶であり、優雅さとスポーティさを完璧に融合させたアルファ155 ツインスパーク。先進テクノロジーを投影した独創的なデザインを持ち、発表以来、このクラスとカテゴリーを代表する車として評価されています。直列4気筒2.0ℓ DOHC

ツインスパーク・エンジンはアルファ ロメオが特許を持つフェーズ・バリエーター、ボッシュ製電子モトロニックM1.7 マネージメント・システムなど最新の装備によって、優れた精度と性能を実現。パワフルなエンジンに合わせて、足回りなどすべてのメカニズムも強化されています。さら

に、4輪ABSやエアバッグを標準装備し、安全性がいう向上。アルファ155ツインスパークを駆るドライバーは、心地よさと安心感に包まれながら、パワーあふれるダイナミックな走りを心から楽しむことができます。



ALFA 155 Q4

リヤスポイラーや純正レカロシートを標準装備し、DTMレーシングマシンに最も近いモデルとして仕上げられながら、高度な快適性と安全性も兼ね備えたアルファ155Q4。心臓部には強力無比な直列4気筒2.0ℓDOHC16バルブ・インタークーラーターボ・エンジンを搭載。さらに、スポー

ツカーの新たな指標となるべく、フルタイム4WDシステム、電子制御式可変ダンピング・システム、4輪ABSなどを理想的に統合し、エキサイティングなドライビングの歓びを創造。あらゆる状況において、力強く俊敏なドライビング性能と、完璧なまでのコントロール性能を発揮します。

もちろん、安全性も重視し、万一の際にドライバーを保護するエアバッグを標準装備。いちだんと精悍さを深め、スポーツ性能を高めたマシンを自在に操り、ハイパフォーマンスな走りをご満喫ください。



Specifications

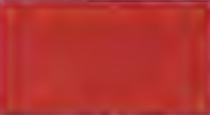
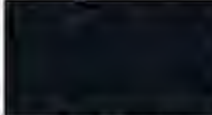
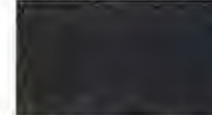
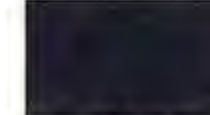
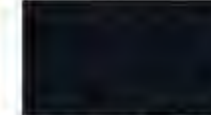
車名	ALFA 155 Twin Spark	ALFA 155 Q4
全長×全幅×全高(mm)	4,445×1,695×1,440	4,445×1,695×1,440
ホイールベース(mm)	2,540	2,540
トレッド 前/後(mm)	1,465/1,400	1,480/1,400
車両重量(kg) * ()はサンルーフ付き	1,310(1,320)	1,490
乗車定員(名)	5	5
エンジン種類	水冷直列4気筒DOHC	水冷直列4気筒DOHC16V・インタークーラーターボ
総排気量(cc)	1,995	1,995
最高出力(ps/rpm)(DIN)	140/6,000	185/6,000
最大トルク(kgm/rpm)(DIN)	19.3/5,000	30.3/2,500
燃料供給装置	電子制御式燃料噴射装置	電子制御式燃料噴射装置 ギャレットT3ターボ・チャージャー(インタークーラー付き)
変速機操作方式	フロアチェンジ式5速マニュアル	フロアチェンジ式5速マニュアル
ステアリング形式	ラック&ピニオン式パワーステアリング	ラック&ピニオン式パワーステアリング
サスペンション(前/後)	マクファーソン式独立懸架/トレーリングアーム式独立懸架	マクファーソン式独立懸架/トレーリングアーム式独立懸架
タイヤ	195/60 R14	205/50 ZR15
主ブレーキ形式(前/後)	ベンチレーテッド・ディスク/ディスク	ベンチレーテッド・ディスク/ディスク

Major Equipments

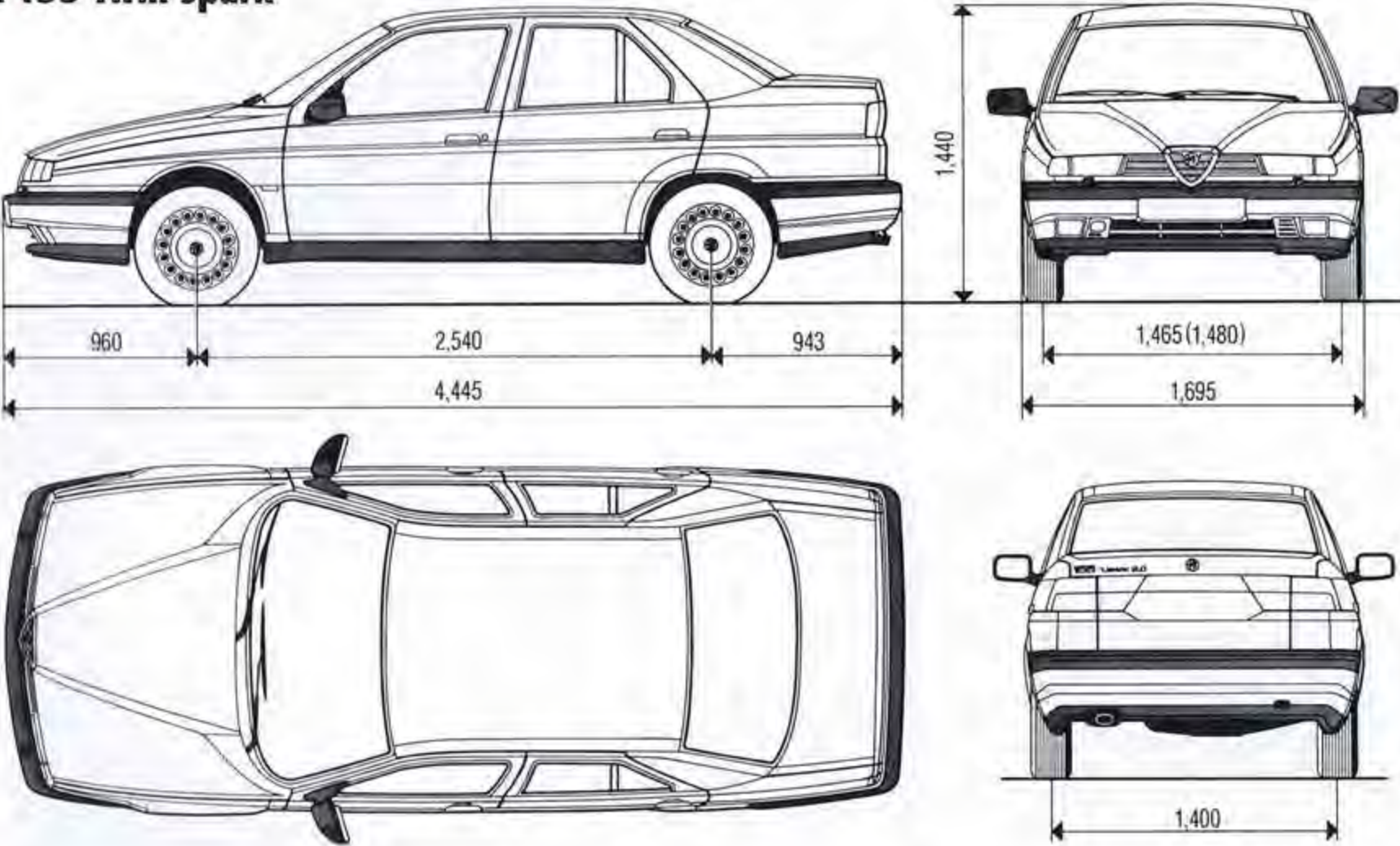
車名	ALFA 155 Twin Spark	ALFA 155 Q4
■エクステリア		
ポリエリプティカル・ヘッドライト	●	●
テインテッドガラス	●	●
フロント・フォグライト	●	●
リヤ・フォグライト	●	●
パワーウインドー(前/後)	●	●
4輪ABS	●	●
電子制御式可変ダンピング・システム	-	●
リヤスポイラー	-	●
電動サンルーフ	▲	-
メタリック・ペイント	▲	-
■インテリア		
ファブリックシート	●	●(レカロ製)
パワーシート(前席)	●	-
シートヒーター(前席)	●	-
パワーステアリング	●	●
エアバッグ	●	●
オートマチック・エアコンディショナー	●	●
集中ドアロック	●	●
チェックパネル	●	●
電子チューナー付きカセットデッキ	●	●

●=標準装備 ▲=オプション -=設定なし
写真はヨーロッパ仕様のため、日本仕様車とは一部異なります。また、表記された諸元・仕様ならびに装備は改良のため予告なく変更される場合があります。

Color Variation

ALFA 155 Twin Spark					ALFA 155 Q4	
						
Red (130)	Black (601)	Green Metallic (364)	Blue Metallic (431)	Silver (676)	Red (130)	Black (601)

ALFA 155 Twin Spark



*()内はALFA 155Q4



いのち モータースポーツこそ我が運命。熱き戦いは、時代を超えて。

アルファ ロメオの歴史は1910年に設立されたALFA社(Anonima Lombarda Fabbrica di Automobili/ロンバルダ自動車製作会社)から始まります。当時から今日まで、アルファ ロメオは車を単なる輸送手段として捉えることなく、走りを純粹に愛する人々のために、少量生産の高性能車を作り続けてきました。また、アルファ ロメオは設立以来、常にモータースポーツに参戦し、過酷な戦いの中で自らの力を証明してきました。Motor Sports is Our Destiny.(モータースポーツこそ我が運命)。この言葉にアルファ ロメオのレースにかける情熱と美学が凝縮されています。



P2 GRAN PREMIO

1923年に名設計家 ヴィットリオ・ヤノが完成させたP2は、DOHC、スーパーチャージャーなどの斬新なメカニズムを採用して登場し、デビューと共にグランプリレースを席巻。その伝説的な活躍によって、モータースポーツにおける名門としてのアルファ ロメオの名を不動のものとなりました。P2の後継モデルP3も名ドライバー、ヌヴォラリやファンジオの手によって輝かしい戦績を収めています。サーキットだけでなく、タルガ・フローリオ、ミッレ・ミリアなどのロードレースにも意欲的に参加し、アントニオ・アスカリやエンツォ・フェラーリのドライビングで多くの優勝を遂げています。市販車に近いマシンで戦うツーリングカーレースへの想いも強く、1966年から69年にかけては、ジュリアスプリント GTAでヨーロッパ・ツーリングカー選手権4連覇を達成。その後もGTA/GTAm、GTV6、75ターボなど幾多の名車が、独特のアルファ・サウ

ンドを響かせながらサーキットを駆け巡りました。現在はI55ツインスパークをベースにした「I55シルバーストーン」で、イギリス・ツーリングカー選手権(BTCC)に参戦。さらに、I55Q4がベースの「I55 V6 TI」を擁して、ドイツ・ツーリングカー選手権(DTM)にも参戦し、宿命のライバル・メルセデスと熱い戦いを繰り広げています。これからもアルファ ロメオは強烈なチャレンジ・スピリットを持って、モータースポーツに挑み続けます。

アルファ ロメオはフィアット・グループの一員として、環境保全を目的としたリサイクル活動や、未来の交通システム作りに積極的に取り組んでいます。リサイクルに関しては、車の主要素材である金属はもちろん、樹脂やゴムの再利用も推進。すでにヨーロッパではバンパーなどを化学的に分解して、樹脂原料として実際に再利用しています。資源の節約と有効利用は時代のニーズであり、リサイクルしやすい設計や材料の開発にも着手しています。また、将来の交通社会を考えるために、ヨーロッパのプロメテウス計画に参加。このプロジェクトにはヨーロッパの主要な自動車メーカーが参加しており、道路に埋め込まれた送信機が発する電波を車のセンサーで受信する自動運転システムなど、様々な研究が続けられています。もちろん、このような研究が進んでも、人の意志や感性を大切に、あくまでもドライビング・プレジャーを追求するアルファ ロメオの姿勢は決して変わりません。



ALFA 155 V6 TI

